

令和 8 年 版

消 防 年 報



有明広域行政事務組合消防本部

は じ め に

この年報は、令和7年における消防業務についての実績を収録し、今後の参考にするとともに、本組合の消防事情について広く紹介するため編集しました。

なお、統計図及び統計表に「年」とあるのは暦年を表わし、「年度」とあるのは会計年度で、「何年何月何日」とあるのは調査日を記載しました。

令和8年7月

有明広域行政事務組合消防本部

も く じ

○ 総 務

1	位置と地勢	1
2	常備消防のあゆみ	2～13
3	組合構成市町の面積・人口・世帯数	14
4	議会組織	14
5	組合組織	14
6	消防機構	15
7	消防力の現勢	16
8	消防庁舎の現況	17
9	消防職員の配置状況	18
10	消防吏員の年令・勤務年数調	18
11	消防吏員の特殊技能	19
12	消防職員の教養研修実施状況	20
13	消防予算及び構成市町別負担金内訳	21
	(1) 令和8年度 消防予算	21
	ア 歳 入	21
	イ 歳 出	21
	(2) 令和7年度 構成市町別負担金内訳	21

○ 警防・救急・救助

1	施設機械	22
	(1) 消防車両等の配置状況	22
	(2) 主要器具の配置状況	23
	ア 消火・救助活動用備品	23～25
	イ 救急用備品	26
	(3) 消防車両等の状況	27～28
	(4) 消防水利現況	29
2	救急・救助	30
	(1) 救急出場状況	30
	(2) 署所別救急出場状況	31
	(3) 市町別救急出場状況	32
	(4) 医療機関別搬送人員	33
	(5) 市町別医療機関数	33
	(6) 年別救急出場状況（過去10年間）	34
	(7) 高速道路救急業務実施状況	35
	ア 担当区間	35
	イ 救急出場状況	35
3	応急手当講習修了者数（過去5年間）	35
4	有明地域メディカルコントロール協議会活動状況	36
5	消防機関の活動状況	36
6	救助活動状況	37
	(1) 事故種別出動件数	37

○ 通 信

1	通信施設	38
	(1) 消防救急無線電話設置状況	38
	(2) 有線電話架設状況	38
2	119通報受信状況	39

○ 予 防

1	防火対象物の現況（150㎡以上の棟数を計上）	40
2	建築確認同意事務処理状況	41
3	中高層建築物（4階以上）の現況	42
4	防火対象物定期点検報告制度の現況	43
5	特例認定通知書交付状況	43
6	防火管理講習会実施状況	44
7	各種届出事務処理状況	44
8	荒玉地区幼少年女性防火委員会	45
9	有明地区危険物安全協会	46
10	危険物施設状況	47
	(1) 類別危険物施設の数調	48
	(2) 数量別危険物施設の数調	49
11	危険物施設の許認可状況	50

○ 火 災 状 況

1	火災概況（過去5年間）	51
2	出火件数・損害額状況（総括表）	52
	(1) 市町別火災状況	53
	(2) 火災種別件数比較表	54
	(3) 市町別火災発生件数	54
3	火災原因別出火件数調	55

○ 消 防 団

1	有明広域消防連絡協議会の組織	56
2	市町別消防団員数調	56
3	市町別消防団の消防車等保有状況	57

< 参考 >

	組合関係者名簿	58
	(1) 組合役職者名簿	58
	(2) 組合議員名簿	58
	(3) 消防団長等名簿	58

一 目 統 計

(令和8年4月1日)

面積・人口・世帯	面 積	人 口	人口密度	世 帯 数
	421.44km ²	146,634人	347人/km ²	69,984世帯

予算・機構・人事	消防予算	署 所 数	職 員 数	消防団員数
	2,950,659千円	消防本部 1 消防署 2 分署 6 庁舎 1	定数 230 人 実数 226 人 救急救命士 69 人	定数 3,565 人 実数 2,869 人

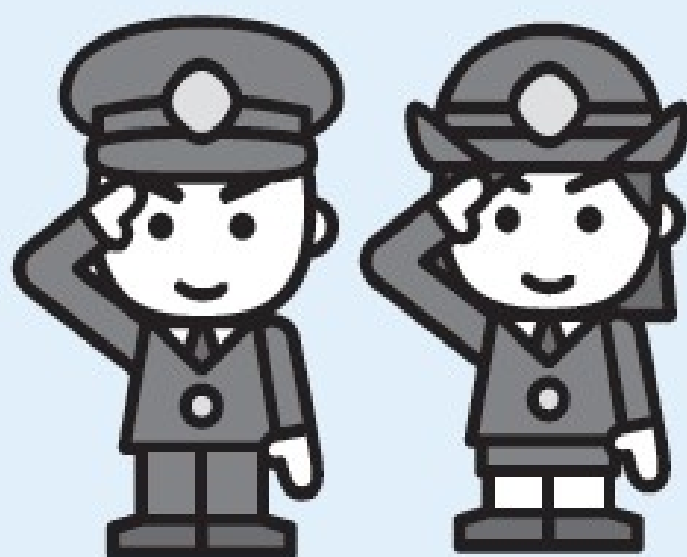
機械・施設	水積載車	特殊車両	救 急 車	水 利
	タンク車 9 台 水槽車 1 台 化学車 1 台 ポンプ 3 台	はしご車 2 台 救助工作車 2 台 支援車 1 台 資機材搬送車 2 台	高規格救急車 12 台	消火栓 2,224 基 防火水槽 1,320 基

火災・救急・救助	火災件数	出火原因	救急件数	救助件数
	78件 約4.6日に 1件の割合 で発生	1位 たき火 26 件 2位 その他 13 件 3位 火入れ 12 件	8833件 1日当たり 約24.2件	117件 約3.1日に 1件の割合 で発生

予 防	防火対象物	危険物施設	防火訓練指導状況	防火クラブ
	5270件 うち8条対象物 2668件	製造所 9 件 貯蔵所 253 件 取扱所 217 件	訓練回数 1,158 件	女性防火クラブ 2 幼年消防クラブ 28 少年消防クラブ 0

火災・救急・救助については、令和7年中

総務

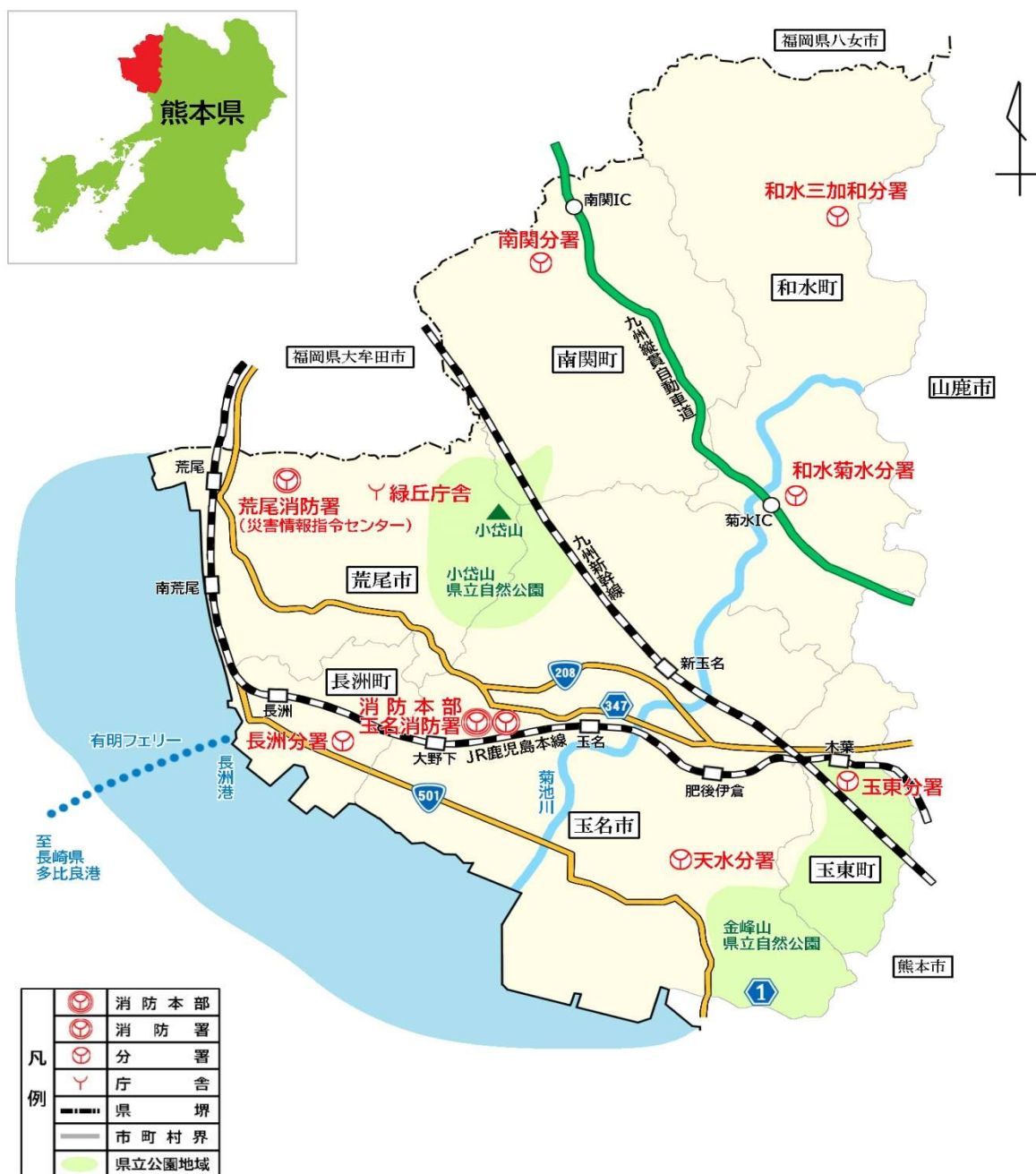


1 位置と地勢

当組合は、熊本県の北西部に位置し、東西20km、南北30kmで有明海に面する臨海部、これとつながる玉名平野、北東部に広がる中山間部からなっている。

県立公園小岱山を中心に市町数2市4町、面積421.44km²、人口146,634人(令和8年4月1日住民基本台帳)の、有明広域市町村圏である。

消防本部及び玉名消防署は、管内の中心部(東経130度31分、北緯32度55分)に位置し、西部に荒尾消防署を配し、防災治安の維持にあたっている。



2. 常備消防のあゆみ

	年	月	日	沿	革
昭和	22	年	12月23日	消防組織法の公布	
昭和	23	年	3月7日	消防組織法の施行に基づき自治体消防制度発足	
昭和	26	年	1月1日	荒尾市に「荒尾市消防本部」が発足	
昭和	38	年	11月1日	玉名市に「玉名市消防本部」が発足	
昭和	47	年	4月1日	昭和47年3月13日地方自治法第284条第1項の規定に基づき一部事務組合が、熊本県指令地第198号で設置許可されたことにより、消防本部1、消防署2、分署1、消防職員89名の現有組織をもって、2市8町を構成母体とし「有明消防組合」が発足し、消防本部を荒尾消防署内に置き業務を開始した。 組合の初代管理者には玉名市長の橋本二郎氏が就任されるとともに、第1回組合議会が招集され、初代議長に横島町選出議員の沼垣功氏が就任、有明消防組合条例等が議決された。 (条例職員定数115人) 初代消防長に宮川行雄任命される。	
		4月	11日	消防吏員27名採用	
		4月	28日	指揮車購入、消防本部に配置	
		10月	1日	南関分署・天水分署業務開始（仮庁舎）	
		10月	18日	日本道路公団から救急自動車（2台）の寄贈を受け、南関分署・菊水分駐所へ配置	
		10月	19日	菊水分駐所業務開始（仮庁舎）	
昭和	48	年	2月8日	現調車購入、消防本部に配置	
		3月	8日	天水分署庁舎開庁式	
		3月	9日	消防専用無線基地局、南関、天水分署に設置	
		3月	30日	監視用テレビ玉名消防署に設置	
		4月	1日	職員定数「158人」となる。 消防吏員43名採用	
		4月	11日	南関分署庁舎開庁式	
		5月	1日	職員定数「161人」となる。	
		7月	5日	菊水分駐所庁舎開庁式	
		7月	10日	日本競輪組合から広報車の寄贈をうけ、消防本部に配置	
		8月	22日	広報車購入、玉名消防署に配置	
		9月	25日	屈折はしご付消防ポンプ自動車（スノーケル車）購入、消防本部に配置	
		10月	25日	熊本県共済農業協同組合連合会から救急自動車の寄贈を受け、天水分署に配置	
		12月	14日	広報車購入、荒尾消防署に配置	
		12月	25日	長洲分署業務開始（仮庁舎） 救急自動車購入、長洲分署に配置	

- 昭和 49 年 2 月 14 日 日立造船株式会社から水槽付消防ポンプ自動車の寄贈を受け「有明号」と命名し、荒尾消防署に配置
- 2 月 27 日 消防専用無線基地局、長洲分署に設置
- 4 月 1 日 職員定数「165人」となる。
- 8 月 13 日 長洲分署開庁式
- 10 月 10 日 荒尾市大正町「きぬや九番街」建物火災において消火救助活動中の職員1名が殉職
- 11 月 19 日 消防ポンプ自動車2台購入、荒尾・玉名消防署に配置
- 12 月 27 日 消防本部「玉名市築地468番地」の新庁舎へ移転
- 昭和 50 年 1 月 1 日 職員定数「170人」となる。
- 1 月 18 日 消防本部庁舎落成式
- 4 月 1 日 菊水分駐所を「分署」に昇格
職員定数「176人」となる。
消防吏員13名採用
- 4 月 7 日 三加和分駐所業務開始
- 10 月 1 日 「有明広域消防連絡協議会」発足（関係市町消防団・有明消防組合）
救急業務協力推進事業実施、荒尾医師会と委託契約締結
- 10 月 27 日 消防専用無線基地局、三加和分駐所に設置
- 11 月 27 日 管内危険物施設関係者により「熊本県危険物安全協会有明支部」を結成
- 12 月 8 日 破壊装置付屈折放水塔車（スクアート車）購入、荒尾消防署に配置
- 昭和 51 年 3 月 4 日 本組合が優良消防機関として、昭和50年度消防庁長官表彰“竿頭綬”を授与される。
- 3 月 9 日 水槽付消防ポンプ自動車を購入、玉名消防署に配置
- 5 月 18 日 玉東分駐所業務開始（開庁式）
- 9 月 28 日 水槽付消防ポンプ自動車2台を購入、三加和・玉東分駐所に配置
- 11 月 26 日 消防無線基地局、玉東分駐所に設置
- 12 月 7 日 日本自動車工業会から救急自動車の寄贈を受け、荒尾消防署に配置
- 12 月 23 日 広報車3台購入、緑丘分署・菊水分署・三加和分駐所に配置
- 昭和 52 年 2 月 1 日 大牟田市・荒尾市・南関町及び有明消防組合で消防相互応援協定が締結された。
- 4 月 19 日 消防機材輸送車を購入、消防本部に配置
- 5 月 29 日 玉名ロータリークラブから広報車の寄贈を受け、「ロータリー号」と命名し、消防本部に配置
- 昭和 53 年 7 月 11 日 第4回熊本県消防救助技術大会が、本組合本部を開催地として実施された。
- 8 月 16 日 荒尾消防署庁舎開庁式
- 9 月 1 日 消防吏員2名採用
- 昭和 54 年 3 月 14 日 小型動力ポンプ付水槽車（10 t）を購入、消防本部に配置
- 4 月 1 日 熊本県防災無線が消防本部に設置され運用開始
- 4 月 12 日 液化ブタンガス導管理設に伴い、荒尾市・有明消防組合・三井コークス販売（株）において「災害防止協定」が締結された。

- 昭和 54 年 6 月 1 日 消防吏員3名採用
都市ガス導管埋設に伴い、荒尾市・有明消防組合・九州ガス圧送（株）において「災害防止協定」が締結された。
- 7 月 2 日 都市ガス導管埋設に伴い、玉名市・岱明町・横島町・天水町・長洲町・有明消防組合・九州ガス圧送（株）において「災害防止協定」が締結された。
- 8 月 2 日 荒尾市消防団大分団結成式
- 昭和 55 年 2 月 18 日 玉名消防署救急自動車更新
- 3 月 29 日 熊本県共済農業協同組合連合会から救急自動車の寄贈を受け、荒尾消防署に配置
- 4 月 1 日 職員定数「184人」となる。
- 5 月 1 日 消防吏員9名採用
- 6 月 19 日 緑丘分署増改築工事完成
- 9 月 3 日 日本消防協会から救急自動車の寄贈を受け、天水分署に配置
- 9 月 22 日 三加和分駐所増築工事完成
- 11 月 19 日 玉東分駐所増築工事完成
- 昭和 56 年 1 月 1 日 三加和・玉東分駐所救急業務開始
- 2 月 7 日 玉名消防署庁舎開庁式
- 11 月 15 日 玉名ライオンズクラブから広報車の寄贈を受け「玉名ライオンズ号」と命名し、玉名消防署に配置
- 12 月 4 日 長洲分署広報車更新
- 昭和 57 年 3 月 23 日 消防本部水槽付消防ポンプ自動車・救急自動車更新
- 4 月 1 日 職員定数「192人」となる。
- 10 月 2 日 消防吏員3名採用（補充）
- 11 月 22 日 菊水分署庁舎増築工事完成
- 昭和 58 年 4 月 1 日 消防吏員8名採用
三加和・玉東分駐所を「分署」に昇格
- 4 月 7 日 玉東分署救急自動車更新
- 6 月 1 日 消防吏員2名採用
- 昭和 59 年 1 月 23 日 三加和分署救急自動車更新
- 3 月 23 日 玉名消防署水槽付消防ポンプ自動車更新
- 昭和 59 年 3 月 31 日 長洲分署電動式ホース乾燥塔完成
- 6 月 1 日 組合産業医委託契約（玉名市築地、馬場内科医院）
- 9 月 21 日 日本損害保険協会から水槽付消防ポンプ自動車「火災保険号」の寄贈を受け長洲分署に配置
- 12 月 19 日 南関分署水槽付消防ポンプ自動車更新
- 昭和 60 年 3 月 2 日 菊水分署救急自動車更新
- 3 月 4 日 南関分署救急自動車更新
- 12 月 3 日 南関分署・天水分署・玉東分署消防連絡車更新（軽自動車採用）
- 12 月 14 日 菊水分署水槽付消防ポンプ自動車更新

昭和 61 年	3 月 31 日	熊本県共済農業協同組合連合会から救急自動車の寄贈を受け、長洲分署に配置
	4 月 1 日	消防吏員5名採用
	4 月 12 日	玉東分署庁舎移転業務開始
	12 月 5 日	荒尾消防署・玉名消防署広報車更新
昭和 62 年	2 月 27 日	荒尾消防署消防ポンプ自動車更新
	3 月 17 日	荒玉地区幼少年婦人防火委員会、荒玉地区幼年消防クラブ連絡協議会結成
	5 月 6 日	消防本部警防車更新
	9 月 8 日	第1回屋内消火栓操法競技大会開催（於：玉名市桃田運動公園グラウンド）
	9 月 18 日	第1回大規模災害救出救護訓練実施（於：岱明町）
	11 月 16 日	菊水分署電動式ホース乾燥塔完成
	11 月 21 日	消防本部庁舎外柵工事完成
	12 月 16 日	玉名消防署消防ポンプ自動車更新
昭和 63 年	1 月 20 日	救助工作車を購入、消防本部に配置
	3 月 5 日	緑丘分署救急自動車更新
	3 月 9 日	自治体消防制度40周年記念式典が日本武道館において開催された。
	4 月 1 日	消防吏員3名採用
	8 月 15 日	荒尾消防署倉庫新築工事完成
	9 月 14 日	第1回熊本県消防剣道大会が熊本武道館で開催される。
	10 月 22 日	消防本部連絡車（総務車）更新
	10 月 28 日	第1回荒玉地区幼年消防大会を荒尾総合文化センターで開催した。
平成 元 年	1 月 20 日	荒尾消防署水槽付消防ポンプ自動車更新
	1 月 25 日	玉名消防署救急自動車更新
	4 月 24 日	荒尾消防署救急自動車更新
	6 月 21 日	人員輸送車（マイクロバス26人乗り）を購入、消防本部に配置
	7 月 10 日	三加和分署庁舎移転業務開始
	10 月 14 日	消防吏員1名採用
	12 月 18 日	三加和分署・菊水分署消防連絡車更新
	12 月 21 日	荒尾消防署広報車更新 職員定数「200人」となる。
平成 2 年	4 月 1 日	消防吏員10名採用
	10 月 14 日	荒尾ライオンズクラブから救急指導車（荒尾ライオンズ号）及び蘇生法訓練人形の寄贈を受け荒尾消防署に配置
平成 3 年	2 月 7 日	日本自動車工業会から救急自動車の寄贈を受け、天水分署に配置（更新）
	3 月 6 日	玉東分署水槽付消防ポンプ自動車更新
	4 月 1 日	消防吏員3名採用
	7 月 24 日	消防本部救助用ボート更新
	10 月 1 日	日本消防協会から救急自動車の寄贈を受け、消防本部に配置（更新）
平成 4 年	2 月 26 日	三加和分署水槽付消防ポンプ自動車更新

- 平成 4 年 4 月 1 日 消防吏員2名採用
- 6 月 1 日 消防本部指揮車更新
- 9 月 3 日 有明消防組合組合章制定
- 10 月 9 日 緑丘分署水槽付消防ポンプ自動車更新
- 10 月 15 日 玉名消防署梯子自動車配備
- 10 月 27 日 組合設立20周年記念行事開催（於：玉名市）
- 平成 5 年 4 月 1 日 消防吏員4名採用
- 4 月 6 日 玉名ライオンズクラブから広報車の寄贈を受け、「ライオンズ号」と命名し、玉名消防署に配置
- 4 月 13 日 消防本部車庫兼体力練成施設（トレーニングセンター）落成式
- 10 月 30 日 三の岳消防無線中継局舎完成
- 11 月 19 日 通信指令施設導入に伴う、消防本部庁舎改築工事完成
- 平成 6 年 4 月 1 日 平成6年3月24日地方自治法第284条第1項の規定に基づく有明広域行政事務組合が、熊本県指令地第88号により設立される。組合の初代代表理事には、玉名市長の松本虎之助氏が就任されるとともに初代議長に菊水町選出議員の辻巽氏が就任された。
- 消防本部警防課に通信指令室を設置し、通信指令施設運用開始
- 消防吏員1名採用
- 6 月 21 日 有明地区危険物安全協会設立20周年記念式典開催（於：玉名市民会館）
- 8 月 26 日 災害弱者緊急通報システムセンター運用開始
- 9 月 1 日 初代消防長に原口富雄任命される。
- 10 月 1 日 消防吏員3名採用
- 平成 7 年 1 月 19 日 阪神・淡路大震災（平成7年1月17日発生）救援活動のため兵庫県神戸市へ救助隊を派遣
- 3 月 2 日 高規格救急自動車購入、玉名消防署に配置（更新）
- 4 月 1 日 消防吏員3名採用
- 6 月 30 日 緊急消防援助隊を発足
- 7 月 31 日 日本損害保険協会から救助工作車の寄贈を受け、荒尾消防署に配置
- 8 月 2 日 消防本部予防車更新
- 9 月 25 日 消防本部資機材輸送車更新
- 10 月 1 日 消防吏員3名採用
- 10 月 18 日 荒尾消防署梯子自動車配備
- 10 月 21 日 救急基金チャリティーゴルフ大会が中九州ゴルフ倶楽部で開催された。
- 11 月 28 日・29 日 緊急消防援助隊の合同訓練が東京ガス豊洲工場跡地で実施された。
- 平成 8 年 4 月 1 日 通信指令室を「課」に昇格
- 4 月 2 日 玉東分署救急自動車更新
- 4 月 16 日 高規格救急自動車購入、荒尾消防署に配置（更新）
- 平成 9 年 4 月 1 日 消防吏員11名採用

平成 9 年 4 月 15 日 熊本県共済農業協同組合連合会から救急自動車の寄贈を受け、三加和分署に配置（更新）

平成 9 年 10 月 26 日 組合設立25周年記念行事開催（於：荒尾市）

11 月 11 日 南関分署・天水分署・玉東分署連絡車更新

平成 10 年 2 月 19 日 菊水分署救急自動車更新

2 月 24 日 南関分署救急自動車更新

3 月 24 日 消防本部水槽付消防ポンプ自動車更新
消防吏員8名採用

11 月 26 日 玉東分署電動式ホース乾燥塔完成
消防本部通信指令課広報車更新
玉名消防署広報車更新

平成 11 年 2 月 12 日 長洲分署救急自動車更新

4 月 1 日 消防吏員2名採用

6 月 29 日 消防本部警防車更新

平成 12 年 4 月 1 日 消防吏員1名採用

4 月 11 日 平成12年度熊本県消防長会春季総会及び第23回熊本県消防職員意見発表会が玉名市で開催された。

7 月 3 日 消防本部総務車更新

8 月 18 日 第29回全国消防救助技術大会が熊本市において開催された。

10 月 20 日 第8回熊本県幼年消防大会が荒尾総合文化センターにおいて開催された。

10 月 24 日 緊急消防援助隊全国合同訓練が東京都江東区で開催された。

11 月 7 日・8 日 第3回熊本県下消防大規模災害対応訓練が玉名市桃田運動公園において開催された。

12 月 21 日 長洲分署水槽付消防ポンプ自動車更新

平成 13 年 2 月 9 日 緑丘分署救急自動車更新

4 月 1 日 消防吏員5名採用

8 月 3 日 玉名消防署、南関分署水槽付消防ポンプ自動車更新

10 月 18 日 横浜市で開催された第15回全国女性消防操法大会に長洲町婦人消防団が出場

12 月 26 日 消防本部・天水分署救急自動車更新

平成 14 年 4 月 1 日 職員定数「204人」となる。
消防吏員7名採用

6 月 3 日 有明地区危険物安全協会会長立川博道氏が危険物保安功労者として消防庁長官から表彰された。

9 月 1 日 熊本県総合防災訓練が南関町で実施された。

10 月 1 日 情報基盤整備事業の一環として、パソコン76台を配備し、仮稼働を開始。

10 月 9 日 荒尾消防署広報2号車更新

11 月 12 日 組合設立30周年記念式典及び第7回荒玉地区幼年消防大会を玉名市民会館一帯で開催した。
荒尾市の長崎武氏から「ミニ消防車」の寄贈を受け、荒尾消防署に配置。

平成 15 年	1 月 21 日	天水分署・菊水分署水槽付消防ポンプ自動車更新
	1 月 23 日	有明地域メディカルコントロール協議会が設立される。
	4 月 1 日	消防吏員4名採用 消防 I T システムの本格稼働を開始
	4 月 25 日	玉名消防署梯子車分解整備
	6 月 20 日	第29回熊本県消防救助技術（水上）大会が荒尾市民プールで開催される。
	10 月 10 日	荒尾消防署広報車更新
平成 16 年	2 月 25 日	消防本部小型動力ポンプ付き水槽車（10 t）更新
	4 月 1 日	職員定数「210人」となる。消防吏員8名採用 荒尾・玉名両消防署の消防ポンプ自動車更新
	8 月 1 日	当消防本部のホームページを開設
	11 月 26 日	玉名消防署高規格救急車更新
平成 17 年	3 月 25 日	消防本部救助工作車更新
	4 月 1 日	消防吏員7名採用
	10 月 3 日	玉名市、岱明町、横島町及び天水町が合併し、新「玉名市」が発足。
	10 月 17 日	予防課防火号更新
	11 月 3 日	荒尾消防署梯子車分解整備
	12 月 15 日	荒尾消防署高規格救急自動車更新
平成 18 年	2 月 1 日	荒尾消防署水槽付消防ポンプ自動車更新
	3 月 1 日	菊水町及び三加和町が合併し、和水町が発足。 菊水分署を「和水菊水分署」に、また三加和分署を「和水三加和分署」にそれぞれ名称が変更される。
	4 月 1 日	消防吏員4名採用
	10 月 1 日	玉名消防署指揮車更新
	11 月 24 日	第1回熊本県消防広域再編検討会が開催される。
平成 19 年	3 月 27 日	ユニック付き資機材搬送車配備
	4 月 1 日	消防吏員13名採用。
	7 月 1 日	消防本部ホームページをリニューアル開設。
	11 月 1 日	有明地域住宅防火対策推進協議会が設立される。
平成 20 年	3 月 26 日	荒尾消防署・玉名消防署仮眠室一部改修
	3 月 28 日	高機能通信指令システム竣工式
	4 月 1 日	消防吏員8名採用 本部中央機動隊を玉名消防署西分署とし、救助工作車及び資器材搬送車を玉名消防署に配備替えする。玉名消防署梯子自動車分解整備（2回目）
	5 月 26 日	熊本県消防広域化推進計画が策定される。
	6 月 20 日	第34回熊本県消防救助技術（水上）大会が玉名市民プールで開催される。
	12 月 1 日	消防本部指揮車更新
平成 21 年	3 月 10 日	玉東分署水槽付消防ポンプ自動車更新
	4 月 1 日	消防吏員8名採用

平成 21 年	4 月 1 日	消防本部に救急課及び警防課と通信指令課を統合し、警防情報指令課を設置
	8 月 3 日	南関分署耐震補強工事完了
	11 月 19 日	玉東分署に高規格救急車を配置
	12 月 14 日	荒尾消防署水槽付消防ポンプ自動車更新 和水三加和分署水槽付消防ポンプ自動車更新
	12 月 22 日	日本損害保険協会から高規格救急自動車の寄贈を受け、南関分署に配置
	12 月 25 日	支援車を新規整備し、消防本部に配置
	12 月 28 日	玉名消防署高規格救急車更新
平成 22 年	3 月 19 日	荒尾消防署高規格救急自動車更新
	4 月 1 日	消防吏員12名採用
	8 月 20 日	和水三加和分署に高規格救急自動車を配備
	8 月 28 日	長洲分署に高規格救急自動車を配備
	9 月 3 日	和水菊水分署に高規格救急自動車を配備
平成 23 年	1 月 14 日	荒尾消防署梯子自動車分解整備
	3 月 14 日	東日本大震災（平成23年3月11日発生）災害支援活動のため、緊急消防援助隊として仙台市へ延べ8隊24人を派遣
	3 月 29 日	荒尾消防署救助工作車更新
	4 月 1 日	消防吏員11名採用
	10 月 3 日	消防本部予防広報車更新
平成 24 年	4 月 1 日	消防吏員11名採用
	7 月 12 日	九州北部豪雨災害（平成24年7月12日発生）災害支援活動（熊本県市町村消防相互応援協定に基づく）のため、阿蘇市へ延べ15隊67人を派遣
	12 月 17 日	天水分署に高規格救急自動車を配備
平成 25 年	2 月 22 日	玉名消防署梯子自動車更新
	4 月 1 日	消防吏員8名採用
	10 月 10 日	平成25年度熊本県消防長会秋季総会が荒尾市で開催された。
	12 月 11 日	西分署に高規格救急自動車を配備
平成 26 年	1 月 17 日	第11回全国消防長会九州支部消防情報通信シンポジウムが玉名市で開催された。
	3 月 24 日	荒尾消防署「荒尾市宮内字松ヶ浦1027番地9」の新庁舎へ移転 また、災害情報指令センターを同消防庁舎3階に併設し運用開始 消防本部配備の支援車及び指令車並びに西分署配備の水槽車を荒尾消防署に配備 替える。
	4 月 1 日	消防吏員8名採用 消防本部の救急課及び警防情報指令課を消防課及び指令課に改編 緑丘分署及び西分署を緑丘庁舎及び西庁舎とし、本署の出先機関に組織改編
	11 月 21 日	玉名消防署指揮車更新
	12 月 15 日	玉名消防署高規格救急自動車更新
平成 27 年	1 月 14 日	南関分署、和水菊水分署及び和水三加和分署連絡車更新

平成 27 年	4 月 1 日	消防吏員8名採用
	12 月 25 日	緑丘庁舎高規格救急自動車更新
平成 28 年	1 月 28 日	玉名消防署に化学消防ポンプ自動車を配備
	4 月 1 日	消防吏員3名採用
	4 月 14 日	熊本地震（平成28年4月14日前震発生）、（平成28年4月16日本震発生）災害支援活動（熊本県市町村消防相互応援協定に基づく）のため、益城町・阿蘇市へ延べ16隊70人を派遣
	4 月 21 日	荒尾消防署梯子自動車分解整備（2回目）
平成 29 年	1 月 27 日	長洲分署及び緑丘庁舎水槽付消防ポンプ自動車更新
	4 月 1 日	消防吏員4名採用
	7 月 5 日	平成29年7月九州北部豪雨（平成29年7月5日発生）災害支援活動のため、緊急消防援助隊として福岡県朝倉市及び大分県日田市へ延べ8隊80人を派遣
	11 月 30 日	第60回熊本県救急教育セミナーが荒尾市で開催された。
平成 30 年	3 月 27 日	南関分署水槽付消防ポンプ自動車更新
	4 月 1 日	消防吏員5名採用
平成 31 年	4 月 1 日	消防吏員5名採用 荒尾消防署及び玉名消防署の総務課、警防1課及び警防2課を指導課、警防1課及び警防2課に改編 特別救助隊が荒尾消防署及び玉名消防署に発足
令和 元 年	8 月 28 日	令和元年佐賀豪雨（令和元年8月27日発生）災害支援活動のため、緊急消防援助隊として佐賀県武雄市及び杵島郡大町町へ延べ2隊24人を派遣
	10 月 4 日	荒尾消防署指揮車更新
	12 月 9 日	長洲分署及び南関分署高規格救急車更新
令和 2 年	3 月 2 日	荒尾消防署高規格救急車更新
	4 月 1 日	職員定数「220人」となる。 消防吏員7名採用
	7 月 4 日	令和2年7月豪雨（令和2年7月3日発生）災害支援活動（熊本県市町村相互応援協定に基づく）のため、水俣市、葦北郡芦北町及び津奈木町、八代市坂本町、人吉市へ延べ22隊82名を派遣
	12 月 9 日	天水分署及び和水菊水分署水槽付消防ポンプ自動車更新
	12 月 16 日	荒尾消防署25m級屈折はしご付消防自動車を配備
令和 3 年	2 月 5 日	玉名消防署救助工作車更新
	3 月 1 日	消防本部・玉名消防署「玉名市築地309番地1」の新統合庁舎へ移転し、運用開始 荒尾消防署配備の支援車及び水槽車を玉名消防署に配備替えする。
	4 月 1 日	消防吏員10名採用
	7 月 1 日	長洲分署「長洲町大字清源寺415番地1」の新庁舎へ移転
	7 月 19 日	ありあけ防災館（防災学習センター）運用開始
	10 月 1 日	南関分署「南関町大字関町8番地1」の新庁舎へ移転

令和 3 年	11 月 9 日	消防本部に予防連絡車及び荒尾消防署に連絡車を配備
	12 月 13 日	玉名消防署広報車更新
令和 4 年	1 月 27 日	天水分署及び玉東分署高規格救急車更新
	3 月 7 日	荒尾消防署及び玉名消防署水槽付消防ポンプ自動車更新
	4 月 1 日	消防吏員7名採用
令和 5 年	2 月 28 日	玉名消防署及び和水菊水分署高規格救急車更新
	4 月 1 日	消防職員7名採用
	8 月 29 日	職員定数「230人」となる。
令和 6 年	2 月 5 日	荒尾消防署広報車更新
	2 月 14 日	和水三加和分署高規格救急車更新
	4 月 1 日	消防吏員6名採用
	11 月 21 日	消防本部総務車更新
令和 7 年	3 月 5 日	荒尾市の前廣基成氏から高規格救急車の寄贈を受け、荒尾消防署に配備
	4 月 1 日	消防吏員6名採用
	5 月 1 日	天水分署「玉名市天水町竹崎8番地1」の新庁舎へ移転
	10 月 17 日	消防本部総務車更新
令和 8 年	4 月 1 日	消防吏員5名採用

歴代管理者並びに歴代代表理事
有明消防組合

歴代	氏名	就任年月日	在職期間	備考
初代	橋本 二郎	昭和47年4月1日	2年	玉名市長
二代	橋本 二郎	昭和49年4月29日	3年	玉名市長
三代	鴻江 勇	昭和52年5月24日	3年8ヶ月	荒尾市長
四代	鴻江 勇	昭和56年2月17日	3年11ヶ月	荒尾市長
五代	鴻江 勇	昭和60年2月13日	1年11ヶ月	荒尾市長
六代	松本 虎之助	昭和62年2月3日	9ヶ月	玉名市長
七代	松本 虎之助	昭和62年11月4日	3年11ヶ月	玉名市長
八代	松本 虎之助	平成3年10月30日	2年5ヶ月	玉名市長

有明広域行政事務組合

初代	松本 虎之助	平成6年4月1日	1年6ヶ月	玉名市長
二代	松本 虎之助	平成7年10月30日	4年	玉名市長
三代	北野 典爾	平成11年10月30日	3年2ヶ月	荒尾市長
四代	吉田 勝也	平成15年1月18日	1年	天水町長
五代	高嵯 哲哉	平成16年1月18日	1年	玉名市長
六代	高嵯 哲哉	平成17年1月18日	2ヶ月	玉名市長
七代	前畑 淳治	平成17年4月1日	2年	荒尾市長
八代	島津 勇典	平成19年4月1日	2年	玉名市長
九代	前畑 淳治	平成21年4月1日	2年	荒尾市長
十代	高嵯 哲哉	平成23年4月1日	2年	玉名市長
十一代	前畑 淳治	平成25年4月1日	1年9ヶ月	荒尾市長
十二代	高嵯 哲哉	平成27年1月18日	2年10ヶ月	玉名市長
十三代	前田 移津行	平成29年11月13日	2年4ヶ月	玉東町長
十四代	浅田 敏彦	令和2年4月1日	2年	荒尾市長
十五代	藏原 隆浩	令和4年4月1日	2年	玉名市長
十六代	浅田 敏彦	令和6年4月1日	2年	荒尾市長
十七代	前田 移津行	令和8年4月1日	現在	玉東町長

歴代議長

有明消防組合

歴代	氏名	就任年月日	在職期間	備考
初代	沼垣 功	昭和47年4月1日	3年2ヶ月	横島町議員
二代	浦田 正行	昭和50年6月7日	2年4ヶ月	長洲町議員
三代	福山 深	昭和52年11月2日	1年8ヶ月	三加和町議員
四代	多田隈 強	昭和54年7月17日	2年8ヶ月	南関町議員
五代	多田隈 強	昭和57年3月31日	3年11ヶ月	南関町議員
六代	近延 正	昭和61年3月27日	10ヶ月	菊水町議員
七代	田原 久	昭和62年2月25日	4ヶ月	三加和町議員
八代	磯野 肇	昭和62年7月21日	2年5ヶ月	長洲町議員
九代	村上 康弘	平成元年12月26日	1年7ヶ月	横島町議員
十代	戸上 雄之輔	平成3年7月26日	1年11ヶ月	南関町議員
十一代	村上 康弘	平成5年7月23日	8ヶ月	横島町議員

有明広域行政事務組合

初代	辻 巽	平成6年4月1日	4ヶ月	菊水町議員
二代	磯野 肇	平成6年8月1日	3年	長洲町議員
三代	下田 文生	平成9年8月8日	1年9ヶ月	玉東町議員
四代	江田 就知	平成11年5月29日	2年4ヶ月	岱明町議員
五代	仲田 広則	平成13年10月8日	4ヶ月	三加和町議員
六代	福山 精一	平成14年3月4日	1年2ヶ月	三加和町議員
七代	森川 和博	平成15年5月30日	9ヶ月	横島町議員
八代	柴尾 俊二	平成16年3月4日	1年11ヶ月	南関町議員
九代	荒木 一	平成18年2月17日	1年3ヶ月	玉東町議員
十代	林野 彰	平成19年5月30日	2年3ヶ月	玉名市議員
十一代	清水 健世	平成21年9月25日	1年8ヶ月	荒尾市議員
十二代	福嶋 譲治	平成23年6月3日	2年1ヶ月	玉名市議員
十三代	菰田 正也	平成25年7月31日	1年10ヶ月	荒尾市議員
十四代	小屋野 幸隆	平成27年6月5日	2年1ヶ月	玉名市議員
十五代	菰田 正也	平成29年7月27日	1年10ヶ月	荒尾市議員
十六代	江田 計司	令和元年5月30日	2年2ヶ月	玉名市議員
十七代	菰田 正也	令和3年7月29日	1年9ヶ月	荒尾市議員
十八代	前田 裕二	令和5年6月2日	2ヶ月	荒尾市議員
十九代	松井 一也	令和5年7月31日	現在	長洲町議員

歴代消防長
有明消防組合

歴代	氏名	就任年月日	在職期間	備考
初代	宮川 行雄	昭和47年4月1日	2年1ヶ月	
二代	福島 正義	昭和49年5月1日	2年	
三代	高見 松義	昭和51年5月1日	3年	
四代	荒木 光次	昭和54年5月1日	2年	
五代	村上 英壮	昭和56年5月11日	2年1ヶ月	
六代	積 貞夫	昭和58年6月1日	1年	
七代	大草 武敏	昭和59年6月1日	10ヶ月	
八代	西川 義方	昭和60年4月1日	5年8ヶ月	
九代	古財 忠男	平成2年12月28日	3ヶ月	
十代	伊藤 光政	平成3年4月1日	1年	
十一代	岡本 貞夫	平成4年4月1日	1年	
十二代	古沢 安治	平成5年4月1日	1年	

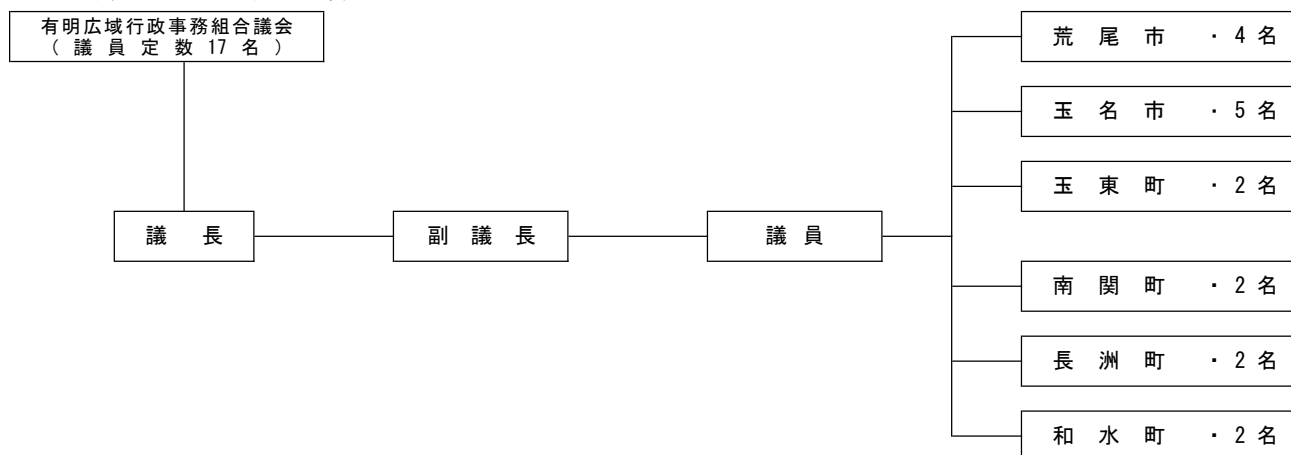
有明広域行政事務組合

初代	原口 富雄	平成6年4月1日	1年	
二代	緒方 昭英	平成7年4月1日	1年7ヶ月	
三代	松浦 勝帰	平成8年11月1日	5ヶ月	
四代	上村 公弘	平成9年4月1日	1年	
五代	三井 信博	平成10年4月1日	2年	
六代	朝岡 宣昭	平成12年4月1日	2年	
七代	西川 剛	平成14年4月1日	6年	
八代	堀川 一信	平成20年4月1日	1年	
九代	深草 良亮	平成21年4月1日	3年	
十代	中村 精也	平成24年4月1日	1年	
十一代	宮本 裕知	平成25年4月1日	4年	
十二代	吉田 耕之	平成29年4月1日	3年	
十三代	堀 幸夫	令和2年4月1日	1年	
十四代	村上 博恭	令和3年4月1日	2年	
十五代	村上 和浩	令和5年4月1日	2年	
十六代	池田 隆昭	令和7年4月1日	1年	
十七代	平本 正義	令和8年4月1日	現在	

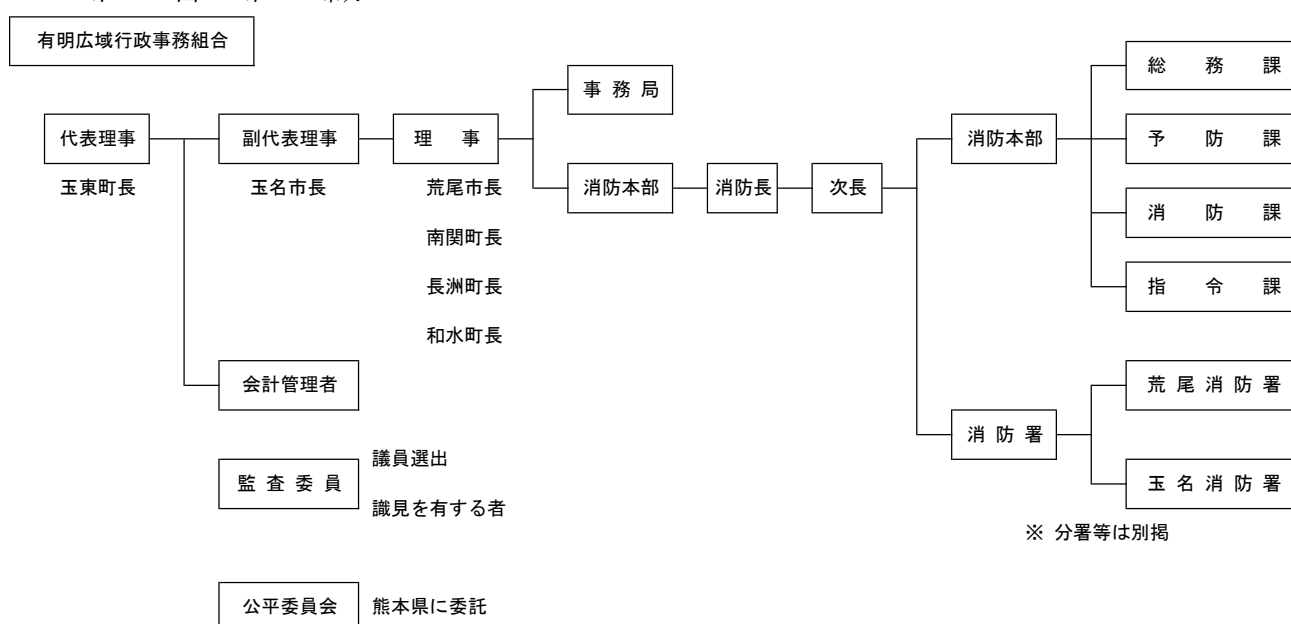
3. 組合構成市町の面積・人口・世帯数

	令和2年度国調			R8.4.1現在住基調	
	面 積	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数
荒 尾 市	57.37	50,832	20,783	48,196	24,001
玉 名 市	152.60	64,292	25,278	61,202	28,619
玉 東 町	24.33	5,045	1,814	5,031	2,093
南 関 町	68.92	8,979	3,503	8,374	4,011
長 洲 町	19.44	15,372	6,434	15,033	7,498
和 水 町	98.78	9,342	3,416	8,798	3,762
計	421.44km ²	153,862人	61,228世帯	146,634人	69,984世帯

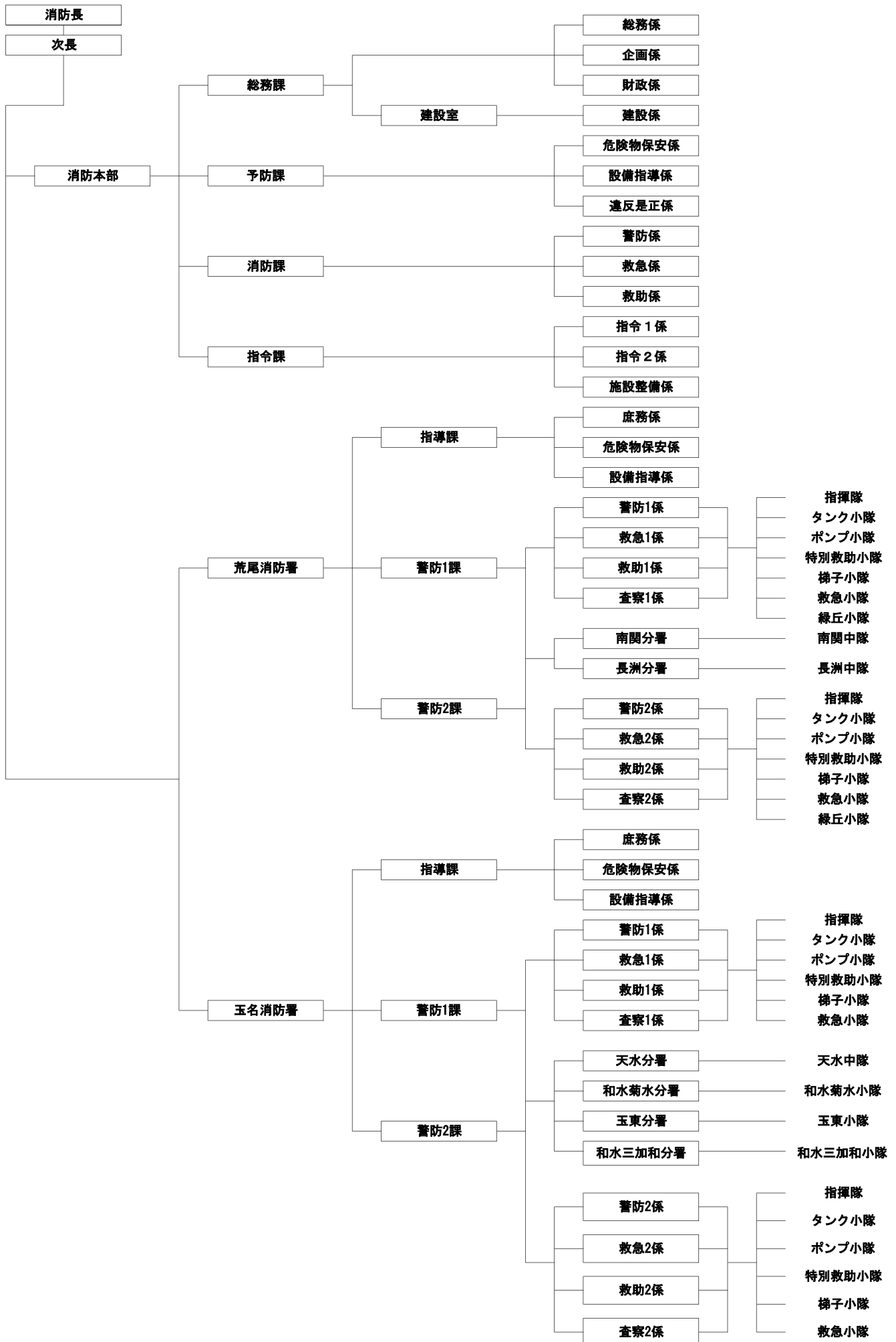
4. 議 会 組 織



5. 組 合 組 織



6. 消防機構



7. 消防力の現勢

(令和8年4月1日現在)

区 分		基 準	現 有	過・不足△	充足率%
署 所 数		9	9	0	100.0
消 防 職 員	警 防 要 員	210	178	△ 32	84.8
	予 防 要 員	35	※11(21)	△ 24	31.4
	通 信 員	10	12	2	120.0
	庶務の処理等の人員	*20	25	6	125.0
	計	275	226	△ 49	82.2
ポ ン プ 車	実 動 車	10	10	0	100.0
	予 備 車	2	2	0	100.0
	計	12	12	0	100.0
特 殊 車	指 揮 車	2	2	0	100.0
	は し ご 車	2	2	0	100.0
	化 学 車	1	1	0	100.0
	水 槽 車	1	1	0	100.0
	救 助 工 作 車	2	2	0	100.0
	計	8	8	0	100.0
救 急 車	実 動 車	10	10	0	100.0
	予 備 車	2	2	0	100.0
	計	12	12	0	100.0

展 示

※ 予防要員：（ ）内は警防要員と兼務した総予防要員を示す。

* 他の欄に含まれない人員についてはこの欄で計上。

8. 消防庁舎の現況

(令和8年4月1日現在)

	所在地	構造	面積
消防本部	〒865-0065 玉名市築地309番地1 TEL 0968-71-0119 FAX 0968-74-0030	鉄筋コンクリート造 3階建	建面積 2,127.15 m ²
ありあけ防災館 (消防本部庁舎内)	TEL 0968-74-0119 FAX 0968-73-8446		延面積 3,919.55 m ²
荒尾消防署	〒864-0004 荒尾市宮内字松ヶ浦1027番地9 TEL 0968-63-1121 FAX 0968-63-1120	鉄筋コンクリート造 3階建	建面積 1,764.37 m ²
災害情報指令センター (荒尾消防署庁舎内)	TEL 0968-69-1760 FAX 0968-64-2863		延面積 3,128.10 m ²
緑丘庁舎	〒864-0015 荒尾市平山字皮籠田2270番地 TEL 0968-66-0072 FAX 0968-66-0108	補強コンクリートブロック造 平屋建	建面積 176.0025 m ²
南関分署	〒861-0803 玉名郡南関町 大字関町8番地1 TEL 0968-53-0309 FAX 0968-53-0315	鉄筋コンクリート造 2階建	建面積 442.16 m ² 延面積 567.72 m ²
長洲分署	〒869-0105 玉名郡長洲町 大字清源寺415番地1 TEL 0968-78-0145 FAX 0968-78-0185	鉄筋コンクリート造 2階建	建面積 541.79 m ² 延面積 511.2 m ²
玉名消防署 (消防本部庁舎内)	〒865-0065 玉名市築地309番地1 TEL 0968-73-7117 FAX 0968-73-7118		
天水分署	〒861-5404 玉名市天水町竹崎8番地1 TEL 0968-82-2495 FAX 0968-82-3242	鉄筋コンクリート造 2階建	建面積 501.51 m ² 延面積 491.64 m ²
和水菊水分署	〒865-0126 玉名郡和水町前原269番地1 TEL 0968-86-2207 FAX 0968-86-2213	鉄筋コンクリート造 平屋建	建面積 200.475 m ²
		木造珉珉 平屋建 (会議室)	延面積 38.88 m ²
玉東分署	〒869-0311 玉名郡玉東町 大字二俣字鍛冶場101番地 TEL 0968-85-3519 FAX 0968-85-3567	鉄骨造 平屋建	建面積 241.2 m ²
和水三加和分署	〒869-0913 玉名郡和水町板楠1740番地3 TEL 0968-34-2600 FAX 0968-34-2617	鉄骨ブロック造 平屋建	建面積 242.77 m ²

9. 消防職員の配置状況

(令和8年4月1日現在)

区 分		消 防 正 監	消 防 監	司 令 長	司 令	司 令 補	士 長	副 士 長	消 防 士	事 務 吏 員	計
消 防 本 部	消 防 長	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	次 長	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	総 務 課	0	0	1	2	2	0	0	1	1	7
	予 防 課	0	0	1	1	3	1	1	0	0	7
	消 防 課	0	0	1	1	1	2	1	0	0	6
	指 令 課	0	1	0	5	2	5	1	0	0	14
	派遣・入校等	0	0	0	0	1	0	1	6	0	8
	計	1	2	3	9	9	8	4	7	1	44
荒 尾 消 防 署	荒 尾 消 防 署	0	0	1	6	13	6	11	5	0	42
	緑 丘 庁 舎	0	0	0	1	2	3	2	2	0	10
	長 洲 分 署	0	0	0	3	3	3	4	4	0	17
	南 関 分 署	0	0	0	3	2	4	6	2	0	17
	計	0	0	1	13	20	16	23	13	0	86
玉 名 消 防 署	玉 名 消 防 署	0	0	1	7	11	13	10	8	0	50
	天 水 分 署	0	0	0	3	2	3	5	3	0	16
	和水菊水分署	0	0	0	1	2	3	2	2	0	10
	和水三加和分署	0	0	0	1	2	3	1	3	0	10
	玉 東 分 署	0	0	0	1	2	3	2	2	0	10
	計	0	0	1	13	19	25	20	18	0	96
合 計		1	2	5	35	48	49	47	38	1	226

10. 消防吏員の年令・勤務年数調

(令和8年4月1日現在)

消 防 吏 員 (225)	年 齢 別													
	18才	21才	26才	31才	36才	41才	46才	51才	56才	平均年齢				
	ゝ	ゝ	ゝ	ゝ	ゝ	ゝ	ゝ	ゝ	ゝ					
	20才	25才	30才	35才	40才	45才	50才	55才	以上					
	5	36	21	24	42	34	27	22	14	38.50				
	勤 務 年 数 別													
	5 年 未 満		5 年 以 上 10 年 未 満		10 年 以 上 15 年 未 満		15 年 以 上 20 年 未 満		20 年 以 上 25 年 未 満		25 年 以 上 30 年 未 満		30 年 以 上	
	28		30		32		49		29		26		31	

11. 消防吏員の特殊技能

(令和8年4月1日現在)

種 別 \ 階 級	正 監	監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	合計
大 型 2 種	0	0	0	2	0	0	0	0	2
大 型 1 種	0	1	4	29	29	22	9	0	94
中 型 免 許 (限 定 解 除)	0	0	0	2	19	25	30	16	92
特 殊 免 許	0	0	1	4	1	4	1	0	11
衛 生 管 理 者	0	1	0	3	4	1	0	0	9
救 急 救 命 士	1	1	1	11	13	23	13	6	69
救 急 隊 資 格 者	0	1	4	23	35	31	40	23	157
救 急 法 指 導 員 (日 赤)	0	0	1	2	1	0	0	1	5
幼 児 安 全 法 指 導 員 (日 赤)	0	0	1	0	0	0	0	0	1
潜 水 士	0	0	2	18	15	13	10	3	61
危 険 物 免 許 (甲 ・ 乙)	1	2	3	30	46	37	15	5	139
消 防 設 備 士 (甲 ・ 乙)	1	0	2	15	18	4	0	0	40
航 空 特 殊 無 線 技 士	0	0	1	0	0	2	0	0	3
第 一 級 陸 上 特 殊 無 線 技 士	0	0	0	2	1	0	0	0	3
第 二 級 陸 上 特 殊 無 線 技 士	1	2	5	27	23	4	1	1	64
第 三 級 陸 上 特 殊 無 線 技 士	0	0	0	2	23	42	21	6	94
小 型 船 舶 操 縦 士	0	1	1	7	12	9	2	0	32
酸 素 欠 乏 危 険 作 業 主 任 者 (第 2 級)	0	0	2	6	11	3	0	0	22
高 圧 ガ ス 作 業 主 任 者	0	0	0	0	1	0	0	0	1
玉 掛 技 能 者	0	2	3	18	10	3	3	0	39
移 動 式 ク レ ー ン	0	0	0	9	23	15	12	0	59
ガ ス 溶 接	0	0	1	3	3	1	0	0	8
劇 毒 物 取 扱 者	0	0	0	0	3	0	1	0	4
火 薬 取 扱 主 任 者	0	0	0	1	0	0	0	0	1
電 気 関 係	0	0	0	1	3	7	0	1	12
特 定 化 学 物 質 等 作 業 主 任 者	0	0	0	1	1	1	0	0	3
予 防 技 術 検 定 (危 険 物)	0	0	0	5	9	16	8	0	38
予 防 技 術 検 定 (消 防 用 設 備 等)	0	0	0	7	12	10	4	0	33
予 防 技 術 検 定 (防 火 査 察)	0	0	0	10	16	27	20	2	75
予 防 技 術 資 格 者 (消 防 用 設 備 等 専 門 員)	0	0	0	6	10	3	0	0	19
予 防 技 術 資 格 者 (危 険 物 専 門 員)	0	1	0	5	7	7	0	0	20
予 防 技 術 資 格 者 (防 火 査 察 専 門 員)	0	0	0	6	11	10	0	0	27

12. 消防職員の教養研修実施状況

(令和7年度)

機 関 名	教育機関		期 間	人員
救急救命 研 修 所	救急救命東京研修所（第68期）		4. 3～9. 30（181日間）	1名
	指導救命士研修		5. 21～7. 1（42日間）	1名
	救急救命九州研修所（第44期）		8. 26～3. 9（194日間）	1名
消防大学校	実務講習	救助科第90期	4. 16～6. 6（52日間）	1名
熊 本 県 消防学校	初任	初任科（第70期）	4. 8～9. 18（164日間）	6名
	専科	救助科	10. 21～11. 19（30日間）	4名
		警防科	11. 26～12. 9（14日間）	3名
		通信指令員研修	12. 16～12. 18(3日間)	3名
		火災調査科	12. 11～12. 24（14日間）	3名
		救急科	1. 7～3. 3（56日間）	7名
	幹部	中級幹部科	10. 2～10. 10（9日間）	2名
	特別	模擬火災訓練研修（AFT研修）	2. 24～2. 26（3日間）	6名
		実火災訓練研修（HT）	3. 4～3. 6（3日間）	6名
		警防隊員研修	3. 9～3. 13（5日間）	2名
全国消防長会 九州支部	法制・広報研修会（大分市）		9. 18～9. 19（2日間）	1名
	消防長研修会（宮崎市）		11. 18～11. 19（2日間）	2名
	消防実務講習会（熊本市）		10. 3（1日間）	3名
熊本県消防長会	消防法令違反是正事例研究会（熊本市）		8. 22（1日間）	2名
	令和7年度熊本県消防長会総務研修（女性消防職員研修）（熊本市）		12. 5（1日間）	5名
その他	災害共済事務担当者研修会（熊本市）		6. 3（1日間）	2名
	地方債実務講習会（熊本市）		4. 16（1日間）	2名
	有明排出油等防除協議会総会及び講習会（大牟田市）		7. 4（1日間）	2名
	人事評価実務研修（熊本市）		7. 22（1日間）	9名
	メンタルヘルスマネジメント実践研修会（熊本市）		9. 29（1日間）	2名
	安全運転実技研修（大津町）		12. 18～12. 19 1. 14～1. 15（4日間）	5名
	危険物等事故防止講習会（宮崎市）		10. 29～10. 30（2日間）	1名
	消防職員安全衛生管理研修会（福岡市）		9. 18～9. 19（2日間）	7名
	令和7年度ハラスメント未然防止力向上研修（熊本市）		11. 12（1日間）	2名
	東京消防庁短期受託研修（江東区）		2. 16～2. 18（3日間）	1名
	法制・執務研修会（熊本市）		9. 12（1日間）	1名
	令和7年度城北ブロック消防本部研修会		11.7(1日間)	5名
	小型移動式クレーン運転技能講習		11.5～11.7(3日間)	2名
	令和7年度城北ブロック消防本部研修会		11.7(1日間)	5名

13. 消防予算及び構成市町別負担金内訳

(1) 令和8年度 消防予算

ア 歳入

(単位：千円)

区分 \ 年度	令和8年度	令和7年度	増 減
分担金及び負担金	2,546,713	2,273,357	273,356
使用料及び手数料	2,741	2,408	333
国庫支出金	1	1	0
県支出金	5,090	5,090	0
財産収入	2	2	0
寄附金	1	1	0
繰入金	32,762	23,791	8,971
繰越金	1	1	0
諸収入	8,648	6,860	1,788
組合債	354,700	26,800	327,900
歳入合計	2,950,659	2,338,311	612,348

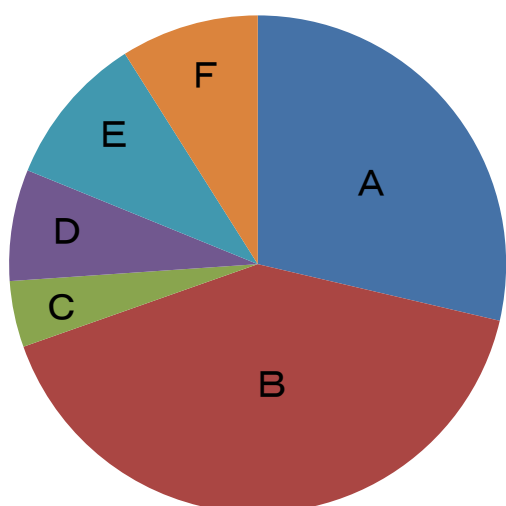
イ 歳出

(単位：千円)

区分 \ 年度	令和8年度	令和7年度	増減
消防費	2,583,797	2,051,366	532,431
公債費	363,862	283,945	79,917
予備費	3,000	3,000	0
歳出合計	2,950,659	2,338,311	612,348

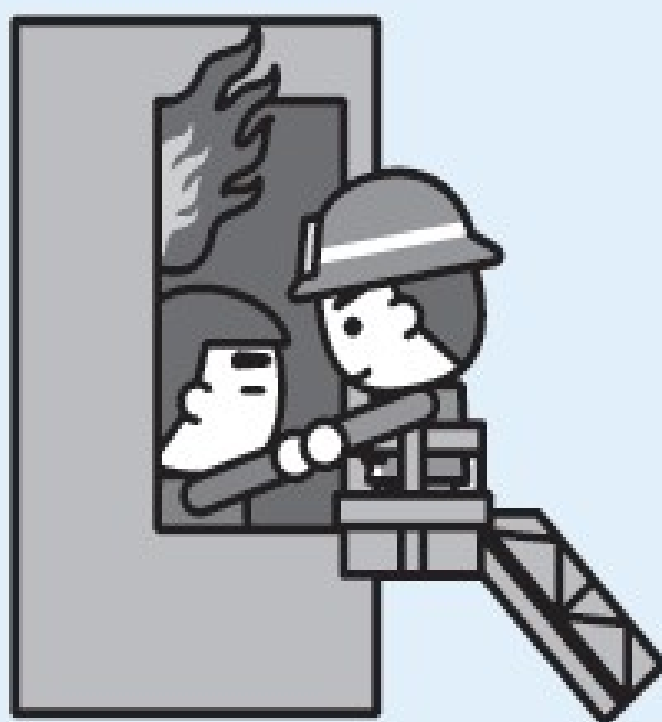
(2) 令和7年度 構成市町別負担金内訳

(単位：千円)



A 荒尾市	584,905	(25.73%)
B 玉名市	873,757	(38.44%)
C 玉東町	141,039	(6.20%)
D 南関町	194,344	(8.55%)
E 長洲町	258,119	(11.35%)
F 和水町	221,193	(9.73%)
計	2,273,357	

警防・救急・救助



1. 施 設 機 械

(1) 消防車両等の配置状況

(令和8年4月1日現在)

所 属 別	水 槽 付 消 火 車	消 防 ホ ン プ 車	指 揮 車	梯 子 車	化 学 車	水 槽 車	救 助 工 作 車	支 援 車 又 輸 送 車	広 報 車 又 連 絡 車	高 規 格 救 急 車	計
消 防 本 部	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	7
荒 尾 消 防 署	2 (1台は予備車)	1	1	1	0	0	1	1	3	2 (1台は予備車)	12
緑 丘 庁 舎	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
南 関 分 署	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	3
長 洲 分 署	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	3
玉 名 消 防 署	1 (予備車)	1	1	1	1	1	1	2	2	3 (1台は予備車)	14
天 水 分 署	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	3
和水菊水分署	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	3
玉 東 分 署	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	3
和水三加和分署	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
計	9	3	2	2	1	1	2	3	17	12	52

(2) 主要器具の配置状況

ア 消火・救助活動用備品

(令和8年4月1日現在)

署 名 品 名		消 防 本 部	荒 尾 消 防 署	緑 丘 庁 舎	南 関 分 署	長 洲 分 署	玉 名 消 防 署	天 水 分 署	玉 東 分 署	和 水 菊 水 分 署	和 水 三 加 和 分 署	計
一般 用 救 助 器 具	かざ付きはしご	0	4	1	1	1	2	1	0	1	0	11
	二連梯子、三連梯子	0	6	1	1	1	5	1	1	1	1	18
	金属製折りたたみ梯子又は7作-梯子	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	3
	空気式救助マット	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2
	救命策発射銃	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2
	サバイバースリング	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2
	平担架	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	3
	バスケット担架	0	3	1	1	1	2	1	1	1	1	12
	救助用縛帯	0	9	2	1	1	6	2	1	1	1	24
重量物 排除 用 器 具	油圧ジャッキ	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	油圧スプレッダー	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2
	可搬ウインチ	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	3
	マンホール救助器具	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2
	マット型空気ジャッキ	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2
切 断 用 器 具	油圧切断機	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2
	アークエアー溶断器	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2
	エンジンカッター	0	2	0	1	0	2	0	1	0	0	6
	ガス溶断器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	チェーンソー	0	2	1	1	1	2	1	1	1	1	11
	鉄線カッター	0	6	2	2	2	7	2	2	2	2	27
	空気鋸	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
破 壊 用 器 具	コンクリート・鉄筋切断用チェーンソー	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2
	万能斧	0	6	2	1	1	13	2	2	1	1	29
	携帯用コンクリート破壊器具	0	2	0	0	0	3	0	0	0	0	5
	削岩機	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2
検 知 ・ 測 定 用 器 具	ハンマドリル	0	1	0	0	0	3	0	0	0	0	4
	生物・化学検知器	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
	可燃ガス測定器	0	0	1	1	1	2	1	1	1	1	9
	有毒ガス測定器	0	3	0	0	0	5	0	0	0	0	8
	放射線測定器	0	4	0	0	0	21	0	0	0	0	25

品 名 \ 署 名			消 防 本 部	荒 尾 消 防 署	緑 丘 庁 舎	南 関 分 署	長 洲 分 署	玉 名 消 防 署	天 水 分 署	玉 東 分 署	和 水 菊 水 分 署	和 水 三 加 和 分 署	計
その他	ホ ー ス	6 5 mm	6	90	35	35	35	100	33	35	35	35	439
		5 0 mm	18	40	20	20	18	40	25	20	18	19	238
		4 0 mm	14	32	15	15	15	20	16	15	13	16	171
	A 火災用泡消火薬剤		0	260	20	90	70	260	20	120	40	100	980
	B 火災用泡消火薬剤		0	240	40	0	0	480	0	40	0	0	800
	オイルフェンス		0	3	0	0	0	3	0	0	0	0	6
	油中和剤		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ジェットシューター		0	6	3	3	3	14	4	4	4	4	45
	管 槍	6 5 mm	0	2	1	1	1	3	1	1	1	0	11
		5 0 mm	0	1	2	1	2	1	0	2	1	1	11
		4 0 mm	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		無反動	6 5 mm	0	2	2	1	1	4	0	1	0	20
			5 0 mm	0	2	0	0	2	1	1	1	0	
		クアドラノズル		0	2	2	1	2	4	2	1	2	18
		フォグネイルノズル		0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
		ターボジェットノズル		0	3	2	2	2	4	2	1	2	20
		フォグガン		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		キャプスノズル		0	1	0	0	0	0	2	0	0	3
	エアーホーム管槍		0	0	0	0	1	0	1	0	1	1	4
	中発泡器具		0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	3
	ホースブリッジ		0	8	2	2	2	10	6	4	6	2	42
	ホースクランプ		0	1	1	0	0	0	1	1	1	1	6
	分 水 器	6 5 → 6 5 × 2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
		6 5 → 5 0 × 2	0	2	1	0	3	0	0	1	0	0	7
		6 5 → 6 5 / 5 0 × 2	0	3	1	2	0	7	3	1	3	0	20
		6 5 → 4 0 × 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		6 5 → 5 0 / 4 0 × 2	0	0	0	0	0	4	0	1	0	2	7
	媒介金具	6 5 mm → 5 0 mm	0	3	1	1	1	2	2	1	2	2	15
		6 5 mm → 4 0 mm	0	2	0	1	1	1	3	1	4	0	13
		5 0 mm → 4 0 mm	0	4	2	2	8	6	4	4	4	2	36
		4 0 mm → 5 0 mm	0	1	0	1	1	0	1	1	1	1	7
		5 0 mm → 6 5 mm	0	0	0	1	1	0	0	1	0	1	4
	携帯水筒		0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	5
	夜光チョッキ		0	13	4	8	7	6	8	6	8	3	63
	幼年消防隊用防火衣		0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	5
	屋内消火栓ボックス		0	2	0	0	0	2	0	0	0	0	4
	プロパック		0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	3
	防刃ベスト		0	3	3	3	3	6	3	3	3	3	30

(令和8年4月1日現在)

品 名 \ 署 名		消 防 本 部	荒 尾 消 防 署	緑 丘 庁 舎	南 関 分 署	長 洲 分 署	玉 名 消 防 署	天 水 分 署	玉 東 分 署	和 水 菊 水 分 署	和 水 三 加 和 分 署	計
呼吸 保護 用具	空気呼吸器	0	13	3	3	3	15	3	3	3	3	49
	酸素呼吸器	0	5	0	0	0	5	0	0	0	0	10
	簡易呼吸器	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	送排風機	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	3
隊員用 保護 器具	耐電手袋	0	5	0	0	0	5	0	0	0	0	10
	耐電衣	0	5	0	0	0	5	0	0	0	0	10
	耐電ズボン	0	5	0	0	0	5	0	0	0	0	10
	耐電長靴	0	5	0	0	0	5	0	0	0	0	10
	防毒マスク	0	4	0	0	0	20	0	0	0	0	24
	化学防護服(陽圧式化学防護服を除く)	0	0	0	0	0	15	0	0	0	0	15
	陽圧式化学防護服	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	5
	耐熱服	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	4
器具 防除 用	放射線防護服	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	除染シャワー	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
水難 救助 器具	防除剤散布器	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
	潜水器具	0	5	0	0	0	7	0	0	0	0	12
	救命胴衣	0	30	7	7	7	55	7	7	7	7	134
	水中投光器	0	4	0	0	0	7	0	0	0	0	11
	救命浮環	0	2	1	1	4	9	1	1	1	1	21
	浮標	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	救命ボート	0	1	0	0	0	2	0	1	0	0	4
高度 救命 用具	船外機	0	1	0	0	0	3	0	0	0	0	4
	画像探索機Ⅱ型	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	地中音響探知機	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	熱画像直視装置	0	1	1	1	1	2	1	1	1	1	10
その 他の 救助 用具	夜間用暗視装置	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	投光器(超強カライト)	0	5	1	1	1	8	1	1	1	1	20
	携帯投光器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	携帯拡声器	0	6	2	2	3	11	3	2	2	2	33
	携帯無線機(署活用含む)	0	20	4	8	6	25	6	4	6	5	84
	応急処置セット	0	1	0	1	0	3	0	0	0	0	5
	緩降機	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	ロープ登降機	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	発電機	0	4	1	2	1	9	1	2	1	2	23
大型 フロアー	大型フロアー	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1

イ 救急用備品

(令和8年4月1日現在)

		消 防 本 部	荒 尾 消 防 署	縁 丘 庁 舎	南 関 分 署	長 洲 分 署	玉 名 消 防 署	天 水 分 署	玉 東 分 署	和 水 菊 水 分 署	和 水 三 加 和 分 署	計
9項目器材セット (ショックパンツ・心電図伝送装置・在宅医療の維持を除く)		0	1	1	1	1	2	1	1	1	1	10
自動体外式除細動器(AED)		0	2	1	2	2	5	1	1	1	1	16
オゾン消毒器		0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	9
電動吸引器		0	4	1	1	1	2	1	1	1	1	13
担 架	布	0	4	1	2	2	5	2	3	1	1	21
	折りたたみ	0	10	1	1	1	12	0	0	0	0	25
	レスキューシート		5	3	2	3	7	2	2	1	1	26
	スクープ	0	5	1	2	2	6	1	1	1	1	20
	バックボード一式	0	8	2	3	3	7	3	3	3	3	35
B L S 訓 練 用 人 形	レサシアン(全身)	0	3	0	0	0	2	0	0	0	0	5
	レサシアン(上半身)	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	8
	レサシ・ジュニア	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2
	レサシ・ベビー	0	2	0	0	0	2	0	0	0	0	4
	ヤガミ・成人	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	3
	ヤガミ・幼児	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	ヤガミ・乳児	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	2
	リトルアン	0	10	4	8	8	21	8	4	4	4	71
	リトルジュニア	0	5	0	0	0	5	0	0	0	0	10
	リトルベビー	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2
レサシアンQ CPR		0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2
セーブマン高研訓練人形		0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2
チョーキングチャーリー		0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2
気道管理トレーナー		0	2	0	0	0	2	0	0	0	0	4
静脈路確保訓練用モデル		0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	3
訓練用AEDトレーナー		0	6	3	4	4	9	2	3	3	3	37
殺菌ロッカー		0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	9

(3) 消防車両等の状況

(令和8年4月1日現在)

区分 署別	車 両 種 別	車種	型 式	年式	規 格	備 考
消防本部	総 務 車	トヨタ	DAA-NHW20	H20	乗用	ハイブリッド
	総 務 車	日産	6AA-GC28	R7	ステーションワゴン(8人)	ハイブリッド
	総 務 車	トヨタ	6AA-MXPL10G	R6	ステーションワゴン	ハイブリッド
	警 防 車	日 産	DBA-Y12	H23	ワゴン	
	予 防 車	トヨタ	DAA-NKE165G	H29	ステーションワゴン	ハイブリッド
	予 防 車	マツダ	5BD-DG17V	R3	軽ライトバン	
	指 令 車	スズキ	GF-JB33W	H10		4WD
荒尾消防署	C A F S 付水槽付ポンプ車	日 野	BDG-GX7JGWA改	H21	モリタ A 2	水1.5t積載
	普 通 ポ ン プ 車	日 野	2RG-XZU640M	R4	吉谷機械 A 2	水0.8t積載
	消 防 予 備 車	三 菱	KK-FK61HE	H13	モリタ A 2	水1.5t積載
	指 揮 車	日産	LDF-VW6E26	R1	支援車Ⅳ型	4WD
	梯 子 車	日 野	2DG-FH1AGA改	R2	モリタ25m梯子	スノーケル
	救 助 工 作 車	日 野	BDG-GX7JGWA	H23	Ⅲ型	4WD
	輸 送 車	日 野	TKG-XZU695M	H27		2 t 積載
	連 絡 車	トヨタ	DBA-AZR65G	H17	ステーションワゴン	
	連 絡 車	マツダ	5BD-DG17V	R3	軽ライトバン	
	広 報 車	日 産	5BF-VM20	R6	ライトバン	
	救 急 車	日 産	3BF-CS8E26改	R7	高規格	4WD
	救急車(予備車)	トヨタ	CBF-TRH221S	H21	高規格	2WD
緑丘庁舎	水 槽 付 ポ ン プ 車	日 野	SDG-FD7JEAA改	H29	日本ドライケミカル	水1.5t積載
	救 急 車	トヨタ	CBF-TRH226S	H27	高規格	4WD
南関分署	水 槽 付 ポ ン プ 車	日 野	2KG-FD2ABA	H30	いちほら工業	水1.5t積載
	救 急 車	日 産	CBF-CS8E26改	R1	高規格	4WD
	連 絡 車	スズキ	HBD-DA64V	H26	軽ライトバン	
長洲分署	水 槽 付 ポ ン プ 車	日 野	SDG-GX7JGAA改	H29	小川ポンプ	水1.5t積載
	救 急 車	日 産	CBF-CS8E26改	R1	高規格	4WD
	連 絡 車	マツダ	GBD-DG64V	H22	軽ライトバン	

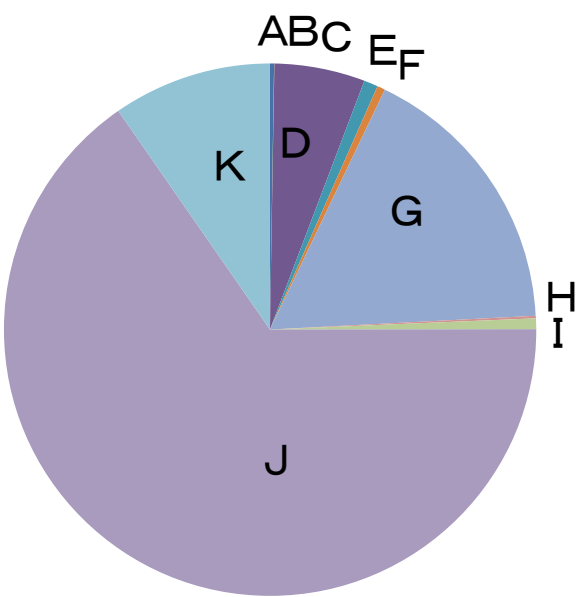
区分 署別	車 両 種 別	車種	型 式	年式	規 格	備 考
玉名消防署	普 通 ポ ン プ 車	日 野	2RG-XZU640M	R4	吉谷機械 A 2	水0.8t積載
	消 防 予 備 車	日 産	PB-MK36A改	H18	ナカムラ A 2	水1.5t積載
	指 揮 車	トヨタ	CBF-TRH216K	H26	ワゴン	4WD
	梯 子 車	日 野	LDG-PR1APBF	H25	モリタ35m梯子	
	化 学 車	日 野	SDG-GX7JGAA改	H28	モリタ A 2	水1.3t薬液0.5t積載
	水 槽 車	日 産	KL-CW55E	H16	小型ポンプ・トハツ B 2	水10 t 積載
	救 助 工 作 車	日 野	2KG-GX2ABA	R2	Ⅲ型	4WD
	支 援 車	三 菱	PDG-BG64DG	H21	25人乗	
	資 機 材 搬 送 車	三 菱	PA-FE83DGY	H19	クレーン装備	3 t 積載
	連 絡 車	スズキ	HBD-DA64V	H26	軽ライトバン	
	広 報 車	日 産	5BF-VM20	R3	ライトバン	
	救 急 車	日 産	3BF-CS8E26改	R5	高規格	4WD
	救 急 車	日 産	CBF-CS8E26改	R3	高規格	4WD
	救 急 車 (予 備 車)	トヨタ	CBF-TRH221S	H22	高規格	2WD
天水分署	水 槽 付 ポ ン プ 車	日 野	2DG-FD2ABA	R2	モリタ A 2	水1.5t積載
	救 急 車	日 産	CBF-CS8E26改	R4	高規格	4WD
	連 絡 車	スズキ	EBD-DA64V	H22	軽ライトバン	
菊和水分署	水 槽 付 ポ ン プ 車	日 野	2DG-FD2ABA	R2	モリタ A 2	水1.5t積載
	救 急 車	日 産	3BF-CS8E26改	R5	高規格	4WD
	連 絡 車	スズキ	HBD-DA64V	H26	軽ライトバン	
玉東分署	CAFS 付 ポ ン プ 車	日 野	BDG-XZU334M	H21	モリタ A 2	消火泡圧縮空気 混合装置付水0.6t積載
	救 急 車	日 産	CBF-CS8E26改	R4	高規格	4WD
	連 絡 車	スズキ	EBD-DA64V	H21	軽ライトバン	
三加和分署	水 槽 付 ポ ン プ 車	日 野	BDG-GD7JGWA改	H21	モリタ A 2	水1.5t積載
	救 急 車	日 産	3BF-CS8E26改	R6	高規格	4WD

(4) 消防水利現況

(令和8年4月1日現在)

種別 市町別	消火栓	防火水槽			
		100m ³ 以上	40～100m ³ 未満	40m ³ 未満	計
荒尾市	733	0	106	79	185
玉名市	932	5	376	27	408
玉東町	158	0	54	15	69
南関町	5	18	138	136	292
長洲町	358	0	9	64	73
和水町	38	2	236	55	293
計	2, 224	25	919	376	1, 320

2. 救 急・救 助
(1) 救急出場状況



A	火 災	21	0.238%
B	自然災害	0	0.000%
C	水 難	3	0.034%
D	交 通	485	5.491%
E	労働災害	76	0.860%
F	運動競技	43	0.487%
G	一般負傷	1,507	17.061%
H	加 害	14	0.158%
I	自損行為	56	0.634%
J	急 病	5,776	65.391%
K	そ の 他	852	9.646%
計		8,833件	

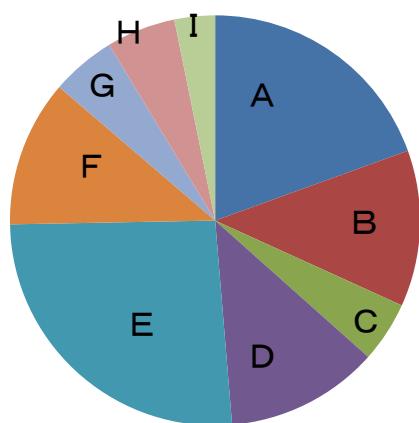
(令和7年中)

区 分 事故種別	出 場 件 数	傷病者 搬 送 件 数	医 師 搬 送 件 数	資機材 等搬送 件 数	不搬送 件 数	搬 送 人 員						
						男	女	死亡	重症	中等症	軽症	その他
火 災	21	4	0	0	17	3	1	0	1	2	1	0
自 然 災 害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
水 難	3	1	0	0	2	1	0	1	0	0	0	0
交 通	485	342	0	0	143	216	150	2	23	149	191	1
労 働 災 害	76	69	0	0	7	60	9	3	6	32	28	0
運 動 競 技	43	38	0	0	5	30	8	0	0	16	22	0
一 般 負 傷	1,507	1,264	0	0	243	532	732	18	141	680	425	0
加 害	14	9	0	0	5	6	4	0	0	2	8	0
自 損 行 為	56	35	0	0	21	14	21	4	11	15	5	0
急 病	5,776	4,648	0	0	1,128	2,340	2,311	129	571	2,447	1,504	1
そ の 他	852	820	0	0	32	440	380	1	191	545	82	1
計	8,833	7,230	0	0	1,603	3,642	3,616	158	944	3,888	2,266	3
令 和 6 年	8,981	7,482	0	0	1,499	3,715	3,801	164	1,048	3,890	2,412	2
対 前 年 比	△ 148	△ 252	0	0	104	△ 73	△ 185	△ 6	△ 104	△ 2	△ 146	1

(2) 署所別救急出場状況

(令和7年中)

種 別 署 別	火 災	自 害 然 災	水 難	交 故 通 事	労 害 働 災	運 技 動 競	一 傷 般 負	加 害	自 為 損 行	急 病	そ の 他	出 数 場 件	搬 員 送 人
荒尾消防署	0	0	0	91	8	6	251	2	18	1,073	273	1,722	1,378
緑丘庁舎	2	0	0	55	9	2	203	5	5	721	86	1,088	857
南関分署	1	0	0	23	4	2	73	0	4	295	17	419	340
長洲分署	1	0	1	46	9	3	193	3	3	755	54	1,068	853
玉名消防署	15	0	2	135	19	14	355	4	12	1,448	295	2,299	1,934
天水分署	0	0	0	69	12	8	208	0	10	654	63	1,024	871
和水菊水分署	1	0	0	29	6	1	78	0	2	277	56	450	382
玉東分署	0	0	0	23	6	3	92	0	2	347	8	481	409
和水三加和分署	1	0	0	14	3	4	54	0	0	206	0	282	235
計	21	0	3	485	76	43	1,507	14	56	5,776	852	8,833	7,259

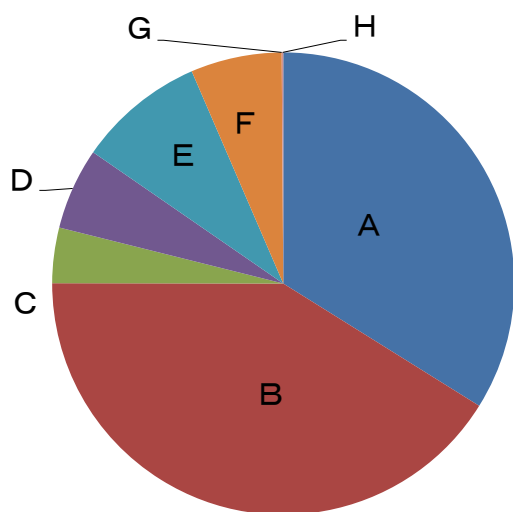


A	荒尾消防署	1,722	(19.5%)
B	緑丘庁舎	1,088	(12.3%)
C	南関分署	419	(4.8%)
D	長洲分署	1,068	(12.1%)
E	玉名消防署	2,299	(26.0%)
F	天水分署	1,024	(11.6%)
G	和水菊水分署	450	(5.1%)
H	玉東分署	481	(5.4%)
I	和水三加和分署	282	(3.2%)
計		8,833件	

(3) 市町別救急出場状況

(令和7年中)

区分 市町別	救 急 事 故 出 場 種 別											出 場 件 数	搬 送 人 員
	火 災	自然 災害	水 難	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他		
荒 尾 市	5	0	0	150	19	8	482	7	23	1,926	372	2,992	2,371
玉 名 市	10	0	2	220	30	23	634	4	22	2,316	374	3,635	3,075
玉 東 町	0	0	0	15	3	3	57	0	3	259	3	343	288
南 関 町	1	0	0	35	9	2	86	0	4	350	17	504	421
長 洲 町	0	0	1	29	9	3	143	3	3	551	45	787	628
和 水 町	4	0	0	29	6	4	105	0	1	373	41	563	469
管 轄 区 域 外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高 速 道 路	1	0	0	7	0	0	0	0	0	1	0	9	7
計	21	0	3	485	76	43	1,507	14	56	5,776	852	8,833	7,259



A	荒 尾 市	2,992	(33.87%)
B	玉 名 市	3,635	(41.15%)
C	玉 東 町	343	(3.89%)
D	南 関 町	504	(5.71%)
E	長 洲 町	787	(8.91%)
F	和 水 町	563	(6.37%)
G	管 轄 区 域 外	0	(0.00%)
H	高 速 道 路	9	(0.10%)
計		8,833件	

(4) 医療機関別搬送人員

(令和7年中)

搬送先 事故別	救急告示医療機関		その他の医療機関		計
	管内	管外	管内	管外	
交通	249	71	45	1	366
一般負傷	1,009	182	68	5	1,264
急病	3,889	593	144	26	4,652
その他	684	267	8	18	977
計	5,831	1,113	265	50	7,259

(5) 市町別医療機関数

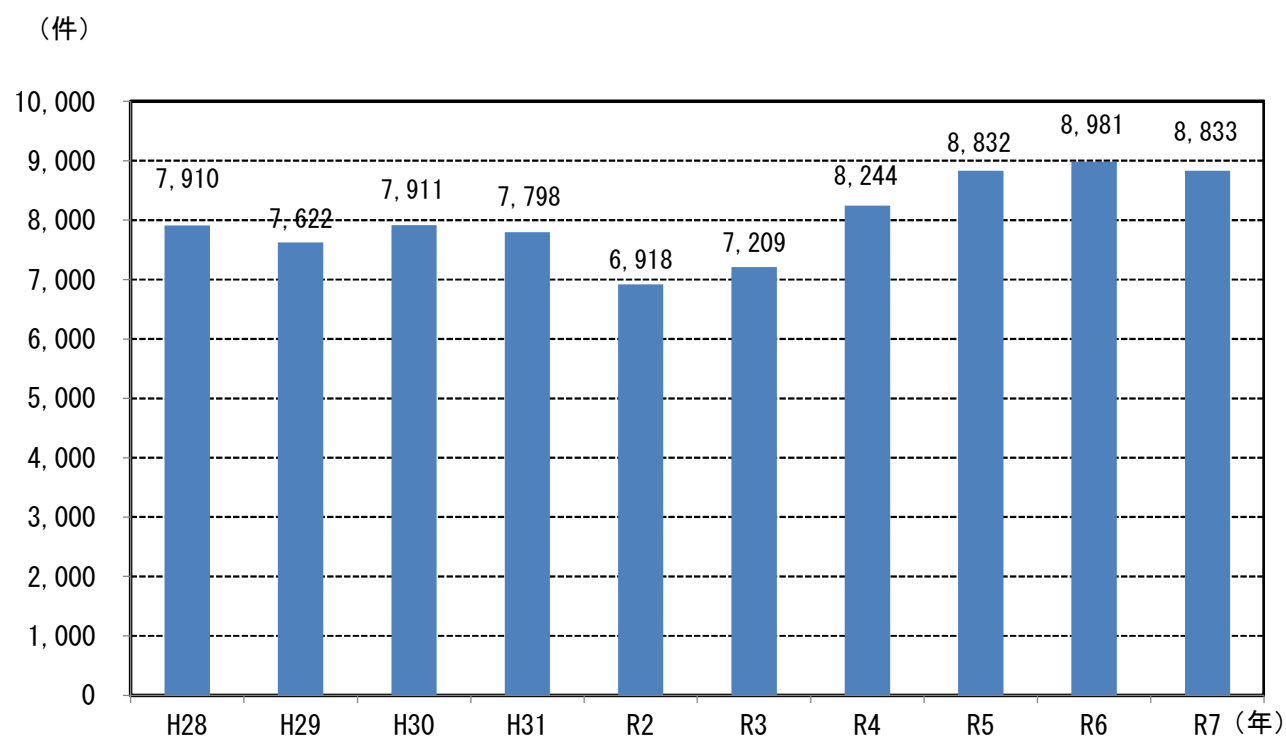
(令和8年4月1日現在)

区分 市町別	病院			診療所			合計			
	国公立	公的	私立	国公立	公的	私立	国公立	公的	私立	計
荒尾市	1	0	6	0	0	46	1	0	52	53
玉名市	0	1	4	0	0	53	0	1	57	58
玉東町	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1
南関町	0	0	0	0	0	4	0	0	4	4
長洲町	0	0	1	0	0	8	0	0	9	9
和水町	1	0	0	0	0	3	1	0	3	4
計	2	1	11	0	0	115	2	1	126	129

歯科診療所及び事業所内診療所、老健施設内診察所を除く

(6) 年別救急出場状況 (過去10年間)

区分 年別	火 災	自然 災害	水 難	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自損 行為	急 病	そ の 他	出 場 件 数
H28	39	2	2	698	62	58	1,266	19	72	4,823	869	7,910
H29	40	0	7	619	72	43	1,196	26	71	4,728	820	7,622
H30	46	2	3	613	87	58	1,152	11	69	5,035	835	7,911
H31	42	0	1	590	88	56	1,232	15	60	4,900	814	7,798
R2	32	3	6	457	68	24	1,092	12	72	4,351	801	6,918
R3	30	0	2	441	67	39	1,244	7	54	4,570	755	7,209
R4	32	0	7	469	91	38	1,416	15	70	5,330	776	8,244
R5	32	0	6	509	63	64	1,462	18	60	5,795	823	8,832
R6	25	0	7	472	79	61	1,539	13	58	5,875	852	8,981
R7	21	0	3	485	76	43	1,507	14	56	5,776	852	8,833



(7) 高速道路救急業務実施状況

ア 担当区間	九州縦貫高速自動車道			
南関分署救急隊	上り線	南関 I・C	～	みやま柳川 I・C
	下り線	南関 I・C	～	菊水 I・C
菊水分署救急隊	上り線	菊水 I・C	～	南関 I・C
	下り線	菊水 I・C	～	植木 I・C

イ 救急出場状況

(令和7年中)

区分 事故種別	出 場 件 数	傷 病 者 搬 送 件 数	不 搬 送 件 数	搬 送 人 員										
				男					女					計
				死 亡	重 症	中 等 症	軽 症	そ の 他	死 亡	重 症	中 等 症	軽 症	そ の 他	
火 災	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
自然災害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
水 難	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
交通事故	15	10	5	0	0	8	3	0	0	0	1	0	0	12
労働災害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
運動競技	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般負傷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
加 害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自損行為	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
急 病	3	3	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	3
転 院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
医師搬送	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
資機材輸送	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	19	14	5	0	0	10	3	0	0	0	3	0	0	16
南 関	11	9	2	0	0	7	1	0	0	0	3	0	0	11
菊 水	8	5	3	0	0	3	2	0	0	0	0	0	0	5
計	19	14	5	0	0	10	3	0	0	0	3	0	0	16

3. 応急手当講習修了者数（過去5年間）

種別 年別	普通救命講習	上級救命講習	応急手当普及員講習
R3年	198	0	0
R4年	303	11	0
R5年	493	5	25
R6年	578	0	38
R7年	647	0	32

4. 有明地域メディカルコントロール協議会（平成15年1月23日設立）

（1）協議会構成

ア 行政機関	熊本県有明保健所	1名
イ 管内医療機関（医師）	荒尾市医師会	1名
	玉名郡市医師会	1名
	荒尾市立有明医療センター	1名
	くまもと県北病院	2名
	和水町立病院	1名

ウ 消防機関	消防長・次長	
	消防課長・指令課長	
	荒尾消防署長・玉名消防署長	
	指導救命士1名・救急救命士2名・事務局3名	
		計19名

（2）協議会活動状況（令和7年度）

- ア 協議会開催 1回
- ・有明消防本部管轄内住民の救命率を向上するため、消防及び医療の関係機関が救急隊員の教育等、諸課題を協議し救急業務の円滑な推進を図るために開催。
- イ 事後検証会開催 1回
- ・事後検証会とは、救急隊員が救急現場で行う現場処置、病院選定等で発生する様々な問題点について医師（委員）に助言を求め救急隊員のレベルアップを図るために開催。

5. 消防機関の活動状況

（令和7年中）

種 別	火 災	風水害等の災害	演習・訓練等	救 急	救助活動	広報・指導		
活 動 回 数	69	21	119	8,833	117	779		
活動延人員	891	86	717	26,653	1,147	2,724		
							警防調査	火災調査
							特別警戒	捜 索
							予防査察	誤報等
							その他	合 計
							502	46
							17	16
							640	19
							726	11,904
							80	2,263
							80	2,214
								38,827

6. 救助活動状況

(1) 事故種別出動件数 (令和7年中)

種 別	火 災	交 通	水 難	自然災害	機 械	建 物	ガ ス	爆 発	その他	計
出動件数	23	44	4	7	3	24	0	0	12	117
活動件数	23	22	4	4	2	17	0	0	7	79
救助人員	0	22	3	9	2	17	0	0	7	60

通 信



1. 通 信 施 設

(1) 消防救急無線電話設置状況

(令和8年4月1日現在)

設置場所	固定局・基地局	陸上移動局 ()うち書きは携帯	署活動用 無線機
消防本部		3(1)	4
災害情報指令センター	固定局 1	4(1)	0
荒尾消防署		17(6)	14
緑丘庁舎		3(1)	3
南関分署		4(2)	6
長洲分署		4(2)	6
玉名消防署		23(7)	17
天水分署		4(2)	6
和水菊水分署		4(2)	4
玉東分署		4(2)	4
和水三加和分署		4(2)	3
三ノ岳基地局	固定局 1・基地局 1		
三池山基地局	固定局 1・基地局 1		
計	固定局 3・基地局 2	74(28)	67

(2) 有線電話架設状況

(令和8年4月1日現在)

架 設 場 所	火災専用 電 話	指 令 専用電話	転送回線	携帯電話 回 線	高速直通 電 話	災害弱者緊急 通報専用回線	一般加入 電 話	防災無線電話 (衛星通信)	計
消 防 本 部	0	0	0	1	0	0	12	0	13
災害情報 指令センター	0	10	2	1	1	0	2	0	16
荒尾消防署	0	0	0	2	0	0	2	0	4
緑 丘 分 署	0	0	0	1	0	0	1	0	2
南 関 分 署	0	0	0	1	0	0	1	0	2
長 洲 分 署	0	0	0	1	0	0	1	0	2
玉名消防署	0	0	0	3	0	0	2	0	5
天 水 分 署	0	0	0	1	0	0	1	0	2
和水菊水分署	0	0	0	1	0	0	1	0	2
玉 東 分 署	0	0	0	1	0	0	1	0	2
和水三加和分署	0	0	0	1	0	0	1	0	2
計	0	10	2	14	1	0	25	0	52

() は衛星利用回線

2. 119通報受信状況

(令和7年中)

	火災	救急	救助	問合せ	試験	悪戯	間違い	その他	転送 送信	FAX 転送	119 網切	合計
1 月	10	861	5	42	39	7	59	69	21	0	1	1,114
2 月	9	717	4	48	36	0	51	70	16	0	0	951
3 月	19	696	5	42	43	2	65	86	15	1	0	974
4 月	8	627	6	47	21	0	71	57	16	5	0	858
5 月	9	603	3	45	43	4	55	75	12	0	0	849
6 月	10	610	3	53	50	7	46	91	7	1	0	878
7 月	4	743	3	71	57	3	51	99	12	2	0	1,045
8 月	9	747	12	140	21	3	63	78	13	0	0	1,086
9 月	7	624	5	31	33	0	37	74	16	0	0	827
10 月	15	625	8	50	36	7	66	94	9	0	1	911
11 月	14	684	6	40	29	2	58	73	22	1	1	930
12 月	18	816	3	44	32	2	43	57	19	0	0	1,034
合 計	132	8,353	63	653	440	37	665	923	178	10	3	11,457

予 防



1. 防火対象物の現況（150㎡以上の棟数を計上）

（令和8年3月31日現在）

市 町 別			荒尾市	玉名市	玉東町	南関町	長洲町	和水町	合計
区 分									
1	イ	劇場、映画館、演芸場、観覧場	4	2	2	0	1	2	11
	ロ	公会堂、集会場	19	21	4	6	4	5	59
2	イ	キャバレー、カフェ、ナイトクラブの類	0	0	0	0	0	0	0
	ロ	遊技場、ダンスホール	19	7	0	1	1	0	28
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗の類	0	0	0	0	0	0	0
	ニ	カラオケボックス、個室ビデオ店等	3	1	0	0	0	0	4
3	イ	待合、料理店の類	1	2	0	0	0	0	3
	ロ	飲食店	43	47	2	5	4	9	110
4		百貨店、マーケット、店舗	83	120	7	13	18	16	257
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所の類	5	25	0	4	8	4	46
	ロ	寄宿舎、下宿、共同住宅	306	524	8	40	55	12	945
6	イ	病院、診療所、助産所	50	60	2	4	10	4	130
	ロ	養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、有料老人ホーム（重度）、介護老人保健施設、認知症高齢者グループホーム等	36	67	4	12	8	11	138
	ハ	老人デイサービスセンター、軽費老人ホーム、老人福祉センター、老人介護支援センター等	59	82	3	11	13	23	191
	ニ	幼稚園、特別支援学校	15	5	0	1	0	0	21
7		小・中・高・大学、各種学校の類	74	129	8	11	13	12	247
8		図書館、博物館、美術館の類	2	3	0	1	1	1	8
9	イ	蒸気浴場、熱気浴場の類	0	1	0	0	0	0	1
	ロ	一般公衆浴場	1	3	1	0	0	3	8
10		車両の停車場、船舶・航空機の発着場	0	1	0	0	1	0	2
11		神社、寺院、教会等の類	28	52	4	15	9	11	119
12	イ	工場、作業場	187	251	22	127	135	114	836
	ロ	映画スタジオ、テレビスタジオ	0	0	0	0	0	0	0
13	イ	自動車車庫、駐車場	13	33	2	4	9	6	67
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫	0	0	0	0	0	0	0
14		倉庫	75	225	18	52	58	59	487
15		前各号に該当しない事業所	187	377	23	106	87	174	954
16	イ	複合用途防火対象物で、1～4項、5項イ、6項又は9項イに掲げる防火対象物の用途に供される部分が存するもの。	104	172	14	24	21	19	354
	ロ	複合用途防火対象物で、5項ロ、7～8項、9項ロ～15項に掲げる防火対象物の用途に供される部分が存するもの。	56	106	12	27	19	16	236
17		重要文化財、重要美術品等の建造物	6	0	0	1	0	1	8
18		延長50メートル以上のアーケード	0	0	0	0	0	0	0
合 計			1,376	2,316	136	465	475	502	5,270

2. 建築確認同意事務処理状況

(令和8年3月31日現在)

区 分			市 町 別	荒尾市	玉名市	玉東町	南関町	長洲町	和水町	合 計
1	イ	劇場、映画館、演芸場、観覧場		0	0	0	0	0	0	0
	ロ	公会堂、集会場		0	0	0	0	0	0	0
2	イ	キャバレー、カフェ、ナイトクラブの類		0	0	0	0	0	0	0
	ロ	遊技場、ダンスホール		0	0	0	0	0	0	0
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗の類		0	0	0	0	0	0	0
	ニ	カラオケボックス、個室ビデオ店等		0	0	0	0	0	0	0
3	イ	待合、料理店の類		0	0	0	0	0	0	0
	ロ	飲食店		1	1	0	0	1	0	3
4		百貨店、マーケット、店舗		0	3	0	0	0	0	3
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所の類		1	1	0	0	0	0	2
	ロ	寄宿舍、下宿、共同住宅		3	4	1	0	1	0	9
6	イ	病院、診療所、助産所		2	0	0	0	0	0	2
	ロ	養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、有料老人ホーム（重度）、介護老人保健施設、認知症高齢者グループホーム等		1	0	0	0	0	0	1
	ハ	老人デイサービスセンター、軽費老人ホーム、老人福祉センター、老人介護支援センター等		0	1	0	0	0	0	1
	ニ	幼稚園、特別支援学校		0	0	0	0	0	0	0
7		小・中・高・大学、各種学校の類		0	0	0	0	0	0	0
8		図書館、博物館、美術館の類		0	0	0	0	0	0	0
9	イ	蒸気浴場、熱気浴場の類		0	0	0	0	0	0	0
	ロ	一般公衆浴場		0	0	0	0	0	0	0
10		車両の停車場、船舶・航空機の発着場		0	0	0	0	0	0	0
11		神社、寺院、教会等の類		0	2	0	0	1	0	3
12	イ	工場、作業場		4	4	0	0	6	0	14
	ロ	映画スタジオ、テレビスタジオ		0	0	0	0	0	0	0
13	イ	自動車車庫、駐車場		0	1	0	0	0	0	1
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫		0	0	0	0	0	0	0
14		倉庫		1	5	0	0	1	1	8
15		前各号に該当しない事業所		7	6	0	0	0	0	13
16	イ	複合用途防火対象物で、1～4項、5項イ、6項又は9項イに掲げる防火対象物の用途に供される部分が存するもの。		0	1	0	0	0	0	1
	ロ	複合用途防火対象物で、5項ロ、7～8項、9項ロ～15項に掲げる防火対象物の用途に供される部分が存するもの。		2	0	0	0	0	0	2
併 用 住 宅				0	0	0	0	0	0	0
専 用 住 宅				4	11	0	1	3	0	19
そ の 他				2	1	0	0	0	0	3
合 計				28	41	1	1	13	1	85

3. 中高層建築物（4階以上）の現況

（令和8年3月31日現在）

防 火 対 象 物 区 分			4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階 以上	合計
1	イ	劇場、映画館、演芸場、観覧場	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ロ	公会堂、集会場	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	イ	キャバレー、カフェ、ナイトクラブの類	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ロ	遊技場、ダンスホール	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗の類	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ニ	カラオケボックス、個室ビデオ店等	0	1	0	0	0	0	0	0	1
3	イ	待合、料理店の類	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ロ	飲食店	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4		百貨店、マーケット、店舗	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所の類	2	5	0	3	1	0	1	0	12
	ロ	寄宿舎、下宿、共同住宅	84	32	3	0	4	1	3	10	137
6	イ	病院、診療所、助産所	5	2	2	0	0	0	0	0	9
	ロ	養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、有料老人ホーム（重度）、介護老人保健施設、認知症高齢者グループホーム等	2	2	0	0	0	0	0	0	4
	ハ	老人デイサービスセンター、軽費老人ホーム、老人福祉センター、老人介護支援センター等	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	ニ	幼稚園、特別支援学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7		小、中、高、大学、各種学校の類	6	0	1	0	0	0	0	0	7
8		図書館、博物館、美術館の類	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9	イ	蒸気浴場、熱気浴場の類	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ロ	一般公衆浴場	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10		車両の停車場、船舶・航空機の発着場	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11		神社、寺院、教会等の類	0	1	0	0	0	0	0	0	1
12	イ	工場、作業場	10	3	0	0	0	0	0	0	13
	ロ	映画スタジオ、テレビスタジオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13	イ	自動車車庫、駐車場	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14		倉庫	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15		前各号に該当しない事業所	9	7	0	0	0	0	0	0	16
16	イ	複合用途防火対象物で、1～4項、5項イ、6項又は9項イに掲げる防火対象物の用途に供される部分が存するもの。	12	3	3	0	1	0	0	0	19
	ロ	複合用途防火対象物で、5項ロ、7～8項、9項ロ～15項に掲げる防火対象物の用途に供される部分が存するもの。	3	0	1	0	0	0	0	0	4
17		重要文化財、重要美術品等の建築物	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18		延長50メートル以上のマーケット	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計			135	56	10	3	6	1	4	10	225

4. 防火対象物定期点検報告制度の現況

(令和8年4月1日現在)

防火対象物の区分		定 期 点 検 対 象 物 数				特 例 認 定 件 数		点 検 報 告 件 数	
		第 1 号 該 当		第 2 号 該 当		第 1 号 該 当	第 2 号 該 当	第 1 号 該 当	第 2 号 該 当
1	イ	7	0	0	0	0	0	5	0
	ロ	40	1	0	0	4	0	30	0
2	イ	0	0	0	0	0	0	0	0
	ロ	9	0	0	0	2	0	7	0
	ハ	0	0	0	0	0	0	0	0
	ニ	0	0	1	0	0	0	0	0
3	イ	0	0	0	0	0	0	0	0
	ロ	0	0	0	0	0	0	0	0
4		45	0	0	0	3	0	38	0
5	イ	5	0	3	0	1	1	3	1
6	イ	7	0	0	0	1	0	4	0
	ロ	0	0	2	0	0	0	0	2
	ハ	0	0	0	0	0	0	0	0
	ニ	0	0	0	0	0	0	0	0
9	イ	1	0	0	0	0	0	1	0
16	イ	37	2	2	1	3	0	22	2
合 計		151	3	8	1	14	1	110	5

5. 特例認定通知書交付状況

(令和8年4月1日現在)

番号	項	対象物名	市 町	番号	項	対象物名	市 町
1	1項ロ	いしはらやすらぎ岱明斎場	玉 名 市	11	5項イ	ビジネスインうめさき	長 洲 町
2	1項ロ	大 麻 文 化 会 館	玉 名 市	12	6項イ	有 働 病 院	荒 尾 市
3	1項ロ	やすらぎ長洲斎場	長 洲 町	13	16項イ	ゆめタウンシティモール	荒 尾 市
4	1項ロ	かずやコスメディア小岱斎場	玉 名 市	14	16項イ	玉 名 市 文 化 セ ン タ ー	玉 名 市
5	2項ロ	マ ル ハ ン 荒 尾 店	荒 尾 市	15	16項イ	玉 名 市 福 祉 セ ン タ ー	玉 名 市
6	2項ロ	ダイナム熊本長洲店	長 洲 町				
7	4項	荒尾ファッションモール	荒 尾 市				
8	4項	ダイレックス荒尾店	荒 尾 市				
9	4項	ファッションセンターしまむら長洲店	長 洲 町				
10	5項イ	司ロイヤルホテル	玉 名 市				

6. 防火管理講習会実施状況

年 別	実 施 回 数	受 講 申 込 者 数	受 講 者 数	修了証交付数
令和 3 年	甲種新規 1	54	53	53
	甲 種 再 1	21	19	19
令和 4 年	甲種新規 2	97	91	91
	甲 種 再 1	30	30	30
令和 5 年	甲種新規 2	112	109	109
	甲 種 再 1	20	19	19
令和 6 年	甲種新規 2	91	86	86
	甲 種 再 1	25	23	23
令和 7 年	甲種新規 2	90	89	89
	甲 種 再 1	28	28	28

7. 各種届出事務処理状況

(令和7年度)

届 出 種 別	届出件数	届 出 種 別	届出件数
防 火 対 象 物 使 用 開 始 届	185	水素ガスを充てんする気球の設置届	0
防 火 管 理 者 選 任 (解 任) 届	226	火災と紛らわしい煙又は火災を発生するおそれのある行為の届	418
防 災 管 理 者 選 任 (解 任) 届	7	煙 火 打 上 げ ・ 仕 掛 け 届	117
消 防 計 画 作 成 (変 更) 届	268	催 物 開 催 届	0
防 災 の 消 防 計 画 作 成 (変 更) 届	10	水 道 断 減 水 届	6
炉 ・ か ま ど ・ ボ イ ラ ー 設 置 届	16	道 路 工 事 届	540
乾 燥 設 備 設 置 届	26	少 量 危 険 物 貯 蔵 取 扱 届	38
火 花 を 発 生 す る 設 備 設 置 届	0	少 量 危 険 物 貯 蔵 取 扱 廃 止 届	37
発 電 設 備 設 置 届	21	指 定 可 燃 物 貯 蔵 取 扱 届	19
変 電 設 備 設 置 届	34	圧縮アセチレンガス・液化石油ガス貯蔵又は取扱の開始届	56
蓄 電 池 設 備 設 置 届	11	禁 止 行 為 の 解 除 承 認 申 請 書	14
ネ オ ン 管 灯 設 備 設 置 届	0	液 化 石 油 ガ ス 設 備 工 事 届 出 書	4

8. 荒玉地区幼少年女性防火委員会

(1) 目 的

本会は、防火防災意識の高揚と防火知識の普及を図るため、住民の自主防火組織としての
幼年消防クラブ・少年消防クラブ及び女性防火クラブの組織づくりと運営等について、指導
及び助言し、防火クラブの健全な育成発展に寄与することを目的とする。

(2) 幼年消防クラブ結成状況

(令和8年4月1日現在)

	幼 稚 園 ・ 保 育 所 名	結 成 年 月 日	ｸﾗﾌ 員数		幼 稚 園 ・ 保 育 所 名	結 成 年 月 日	ｸﾗﾌ 員数
1	木 葉 昭 和 児 童 園	昭 和 28 年 10 月 1 日	16名	16	長 洲 ひ ま わ り 幼 稚 園	昭 和 63 年 4 月 1 日	68名
2	おおとりの丘認定こども園	昭 和 56 年 4 月 1 日	14名	17	長 洲 こ ど も の 海 保 育 園	昭 和 63 年 4 月 1 日	25名
3	山 北 保 育 園	昭 和 58 年 1 月 3 日	23名	18	認定こども園みやじま幼稚園	平 成 元 年 4 月 1 日	32名
4	大 野 保 育 園	昭 和 58 年 6 月 1 日	17名	19	和 水 町 立 神 尾 保 育 園	平 成 元 年 10 月 1 日	41名
5	鍋 保 育 園	昭 和 58 年 6 月 1 日	11名	20	ぬ か み ね 保 育 園	平 成 5 年 1 月 31 日	25名
6	睦 合 保 育 園	昭 和 58 年 6 月 1 日	6名	21	岱 明 幼 稚 園	平 成 5 年 4 月 1 日	29名
7	高 道 保 育 園	昭 和 58 年 6 月 1 日	14名	22	春 富 保 育 園	平 成 10 年 3 月 1 日	7名
8	た ま き な 幼 稚 園	昭 和 60 年 4 月 1 日	49名	23	荒 尾 市 清 里 保 育 園	平 成 11 年 4 月 1 日	10名
9	小 天 保 育 園	昭 和 61 年 4 月 1 日	7名	24	菊 水 ひ ま わ り 園	平 成 16 年 9 月 1 日	36名
10	小 鳩 幼 稚 園	昭 和 61 年 4 月 1 日	24名	25	玉 水 保 育 園	平 成 20 年 10 月 1 日	18名
11	第 二 四 ツ 山 幼 稚 園	昭 和 62 年 3 月 1 日	99名	26	南 関 こ ど も の 丘 保 育 園	平 成 22 年 10 月 29 日	47名
12	横 島 保 育 園	昭 和 62 年 4 月 1 日	24名	27	カ ン ガ ル ー 保 育 園	平 成 22 年 10 月 29 日	60名
13	あ お ば 保 育 園	昭 和 62 年 4 月 1 日	29名	28	滑 石 保 育 園	平 成 30 年 1 月 1 日	8名
14	荒 尾 四 ツ 山 幼 稚 園	昭 和 62 年 12 月 1 日	61名	合 計 28ｸﾗﾌﾞ		838 名	
15	長洲しおかぜこども園	昭 和 63 年 2 月 1 日	38名				

(3) 女性防火クラブ結成状況 (令和8年4月1日現在)

	団 体 名	結成年月日	隊員数
1	白 寿 園 女 性 消 防 隊	平 成 6 年 5 月 16 日	45名
2	有 働 病 院 女 性 消 防 隊	平 成 6 年 5 月 16 日	50名
計	2 団 体		95名

9. 有明地区危険物安全協会

目 的

有明地区協会は、危険物の安全管理の徹底並びに会員相互の融和と親睦を図り、危険物に起因する災害防止に努め、もって社会公共の福祉の増進に寄与することを目的とする。

事 業

有明地区協会は上記の目的を達成するため次に掲げる事業を行う。

- (1) 会員相互間及び関係官公庁との連絡調整
- (2) 防火思想の普及向上
- (3) 上記の目的に係る各種情報及び資料の収集並びにこれらの頒布
- (4) その他有明地区協会の目的を達成するに必要な事業

組 織

(役員数)

(令和8年3月31日現在)

会 長	副会長	会 計	監 事	幹 事	代議員	会 員	事務局
1名	3名	1名	2名	2名	19名	184名	2名

(会員数)

(令和8年3月31日現在)

荒尾分会	39名	玉名分会	43名	玉名分会 岱明地区	16名	玉名分会 横島地区	6名
玉名分会 天水地区	8名	玉東分会	9名	南関分会	16名	長洲分会	28名
和水分会	12名	賛助会員	7名	合 計		184名	

10. 危険物施設状況

(令和8年3月31日現在)

製造所等の別 市 町 別	合 計	製 造 所	貯 蔵 所								取 扱 所					事 業 所 数
			小 計	屋 内 貯 蔵 所	屋 貯 外 々 蔵 ン ク 所	屋 貯 内 々 蔵 ン ク 所	地 貯 下 々 蔵 ン ク 所	簡 貯 易 々 蔵 ン ク 所	移 貯 動 々 蔵 ン ク 所	屋 外 貯 蔵 所	小 計	給 油 取 扱 所	第 取 一 種 扱 販 売 所	第 取 二 種 扱 販 売 所	一 般 取 扱 所	
荒 尾 市	118	8	58	12	27	1	14	1	2	1	52	23	0	0	29	70
玉 名 市	184	0	98	8	24	4	39	1	22	0	86	50	0	0	36	139
玉 東 町	13	0	6	1	1	0	4	0	0	0	7	5	0	0	2	13
南 関 町	38	0	19	9	5	0	4	0	0	1	19	10	0	0	9	30
長 洲 町	89	0	56	24	14	1	10	0	3	4	33	14	0	0	19	48
和 水 町	28	1	10	5	1	0	3	0	1	0	17	14	0	0	3	25
合 計	470	9	247	59	72	6	74	2	28	6	214	116	0	0	98	325

(1) 類別危険物施設の数調

(令和8年3月31日現在)

製造所等の別 類別	合 計	製 造 所	貯蔵所								取扱所				
			小 計	屋内 貯蔵所	屋貯 外 タ蔵 ンク 所	屋貯 内 タ蔵 ンク 所	地貯 下 タ蔵 ンク 所	簡貯 易 タ蔵 ンク 所	移貯 動 タ蔵 ンク 所	屋外 貯蔵 所	小 計	給油 取扱 所	第一 種扱 販 売 所	第二 種扱 販 売 所	一般 取扱 所
第 1 類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
第 2 類	3	0	2	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
第 3 類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
第 4 類	465	8	244	56	72	6	74	2	28	6	213	116	0	0	97
第 5 類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
第 6 類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
混 在	2	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	470	9	247	59	72	6	74	2	28	6	214	116	0	0	98

(2) 数量別危険物施設の数調

(令和8年3月31日現在)

製造所等の別 数量の別	合 計	製 造 所	貯 蔵 所								取 扱 所				
			小 計	屋 内 貯 蔵 所	屋 貯 外 タ 蔵 ン ク 所	屋 貯 内 タ 蔵 ン ク 所	地 貯 下 タ 蔵 ン ク 所	簡 貯 易 タ 蔵 ン ク 所	移 貯 動 タ 蔵 ン ク 所	屋 外 貯 蔵 所	小 計	給 油 取 扱 所	第 取 一 種 扱 販 売 所	第 取 二 種 扱 販 売 所	一 般 取 扱 所
5 倍 以 下	142	1	101	21	10	3	39	2	25	1	40	6	0	0	34
5 倍 を 超 え 10 倍 以 下	104	0	50	16	13	2	15	0	0	4	54	20	0	0	34
10 倍 を 超 え 50 倍 以 下	131	5	71	16	33	1	17	0	3	1	55	30	0	0	25
50 倍 を 超 え 100 倍 以 下	33	0	13	5	5	0	3	0	0	0	20	19	0	0	1
100 倍 を 超 え 150 倍 以 下	20	0	8	0	8	0	0	0	0	0	12	12	0	0	0
150 倍 を 超 え 200 倍 以 下	17	1	2	0	2	0	0	0	0	0	14	12	0	0	2
200 倍 を 超 え 1,000 倍 以 下	23	2	2	1	1	0	0	0	0	0	19	17	0	0	2
1,000 倍 を 超 え 5,000 倍 以 下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5,000 倍 を 超 え 10,000 倍 以 下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10,000 倍 以 上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	470	9	247	59	72	6	74	2	28	6	214	116	0	0	98

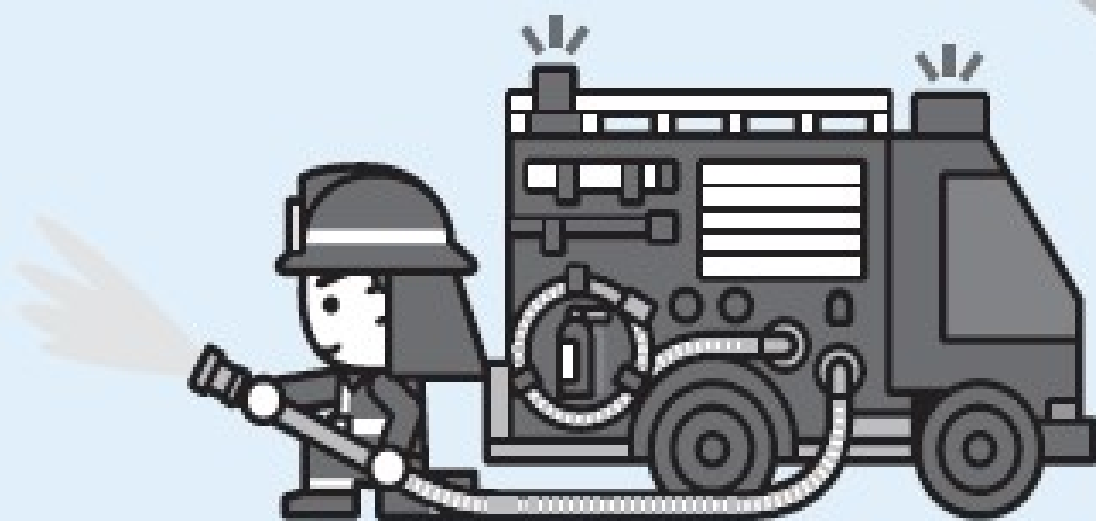
1 1. 危険物施設の許認可状況

(令和8年3月31日現在)

製造所等の別 区分	合 計	製 造 所	貯 蔵 所								取 扱 所				
			小 計	屋 内 貯 蔵 所	屋 貯 外 タ 蔵 ン ク 所	屋 貯 内 タ 蔵 ン ク 所	地 貯 下 タ 蔵 ン ク 所	簡 貯 易 タ 蔵 ン ク 所	移 貯 動 タ 蔵 ン ク 所	屋 外 貯 蔵 所	小 計	給 油 取 扱 所	第 取 一 種 扱 販 売 所	第 取 二 種 扱 販 売 所	一 般 取 扱 所
設 置 許 可	4	0	2	0	1	0	1	0	0	0	2	1	0	0	1
変 更 許 可	39	5	4	1	1	0	2	0	0	0	30	10	0	0	20
完 成 検 査	48	7	6	2	2	0	2	0	0	0	35	14	0	0	21
水 張 検 査	2	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
水 圧 検 査	2	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0
仮 使 用 承 認	32	3	2	1	0	0	1	0	0	0	27	9	0	0	18
廃 止 届	12	0	7	0	3	0	3	0	1	0	5	1	0	0	4

※ 変更許可には変更許可(他行政庁)の数も含まれます。

火災状況



1. 火災概況（過去5年間）

区 分 \ 年 別	R3年	R4年	R5年	R6年	R7年
火 災 発 生 件 数 （ 件 ）	112	103	110	70	78
り 災 世 帯 数 （ 世 帯 ）	21	26	23	14	16
り 災 人 員 数 （ 人 ）	44	66	49	31	35
焼 損 棟 数 （ 棟 ）	51	46	51	29	36
建 物 焼 損 面 積 （ m ² ）	2,517.79	2,098.27	3,180.19	605.72	2,124.48
林 野 焼 損 面 積 （ a ）	162.23	99.50	29.70	61.50	23.90
損 害 見 積 額 （ 千 円 ）	104,864	57,417	91,187	115,375	91,533
死 者 （ 人 ）	4	2	4	2	1
傷 者 （ 人 ）	9	12	17	5	9
月 平 均 火 災 件 数 （ 件 ）	9.33	8.58	9.17	5.83	6.50
月 平 均 り 災 世 帯 （ 世 帯 ）	1.75	2.17	1.92	1.17	1.33
月 平 均 焼 損 棟 数 （ 棟 ）	4.25	3.83	4.25	2.42	3.00
建物火災1件当り焼損面積（m ² ）	81.22	74.94	102.59	30.29	78.68
住 民 1 人 当 り 損 害 額 （ 円 ）	669.75	372.49	597.96	765.19	615.48
1 世 帯 当 り 損 害 額 （ 円 ）	1,504.63	829.75	1,311.21	1,650.69	1,308.47
建物火災1件当り損害額（千円）	3,382.71	2,050.61	2,941.52	5,768.75	3,390.11

2. 出火件数・損額状況（総括表）

（令和7年中）

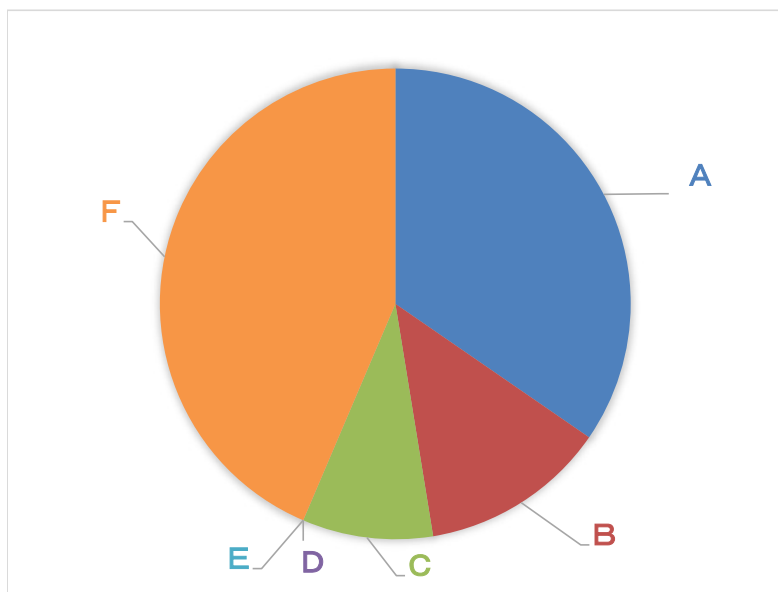
区分 月	出火件数						損害額 （単位：千円）	焼損棟数				り災世帯			焼損面積			死者			負傷者		
	計	建物	林野	車両	船舶	その他		全焼	半焼	部分焼	ぼや	全損	半損	小損	建物 （㎡）	林野 （a）	その他 （a）	消防 吏員	消防 団員	死者	消防 吏員	消防 団員	負傷者
1月	8	0	1	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	4.00	40.00	0	0	0	0	0	1
2月	9	2	2	1	0	4	102	0	0	0	2	0	0	1	0.77	15.00	2.78	0	0	0	0	0	0
3月	7	4	0	1	0	2	21,280	3	1	3	0	2	0	2	826.71	2.00	0.00	0	0	0	0	0	1
4月	7	4	0	0	0	3	2,056	1	0	1	2	0	0	1	175.00	0.18	0.00	0	0	0	0	0	0
5月	5	1	2	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0.00	0.00	12.00	0	0	0	0	0	0
6月	6	1	2	0	0	3	10	0	0	1	0	0	0	1	15.69	0.22	6.00	0	0	0	0	0	0
7月	3	1	1	1	0	0	797	0	0	0	1	0	0	1	0.20	0.00	3.00	0	0	0	0	0	1
8月	6	6	0	0	0	0	25,558	2	0	6	1	2	0	0	381.00	0.00	0.00	0	0	0	1	0	0
9月	7	2	1	2	0	2	1,559	0	0	0	2	0	0	1	0.60	0.00	0.02	0	0	1	0	0	1
10月	8	3	0	1	0	4	5,305	1	0	0	2	1	0	0	189.00	0.00	2.68	0	0	0	0	0	1
11月	6	2	0	1	0	3	21,490	3	0	0	0	1	0	0	390.51	0.00	0.00	0	0	0	0	0	3
12月	6	1	1	0	0	4	13,376	1	0	2	0	1	0	2	145.00	2.50	16.32	0	0	0	0	0	0
合計	78	27	10	7	0	34	91,533	11	1	13	11	7	0	9	2,124.48	23.90	82.80	0	0	1	1	0	8

(1) 市町別火災状況

(令和7年中)

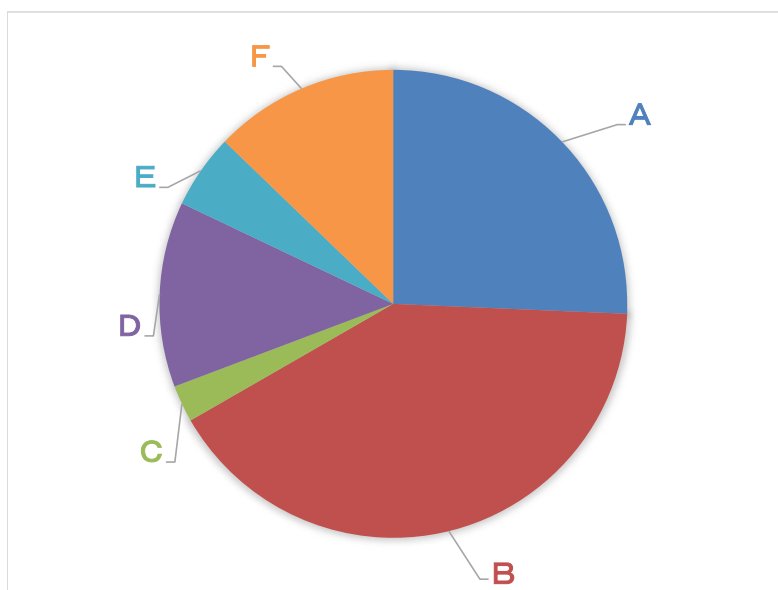
区分 市町別	出 火 件 数						焼 損 棟 数					焼 損 面 積			死傷者数		り災世帯			り 災 者 数	損 害 見 積 額 (単位：千円)									
	合 計	建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 他	合 計	全 焼	半 焼	部 分 燃 や	建 物 (㎡)	林 野 (a)	そ の 他 (a)	死 者	傷 者	全 損	半 損	小 損	合 計		建 物			林 野	車 両	船 舶	そ の 他	爆 発		
																					小 計	建 物	収 容 物							
荒尾市	20	7	3	0	0	10	14	3	1	6	4	789.77	12.90	7.88	0	1	3	0	6	15	42,567	42,354	39,225	3,129	0	150	0	63	0	
玉名市	32	15	4	2	0	11	16	5	0	6	5	773.00	3.00	31.84	1	7	3	0	3	17	36,752	22,603	19,897	2,706	0	12,405	0	1,744	0	
玉東町	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0.00	0.00	5.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
南関町	10	0	3	2	0	5	0	0	0	0	0	0.00	8.00	33.00	0	0	0	0	0	0	2,276	0	0	0	0	1,823	0	453	0	
長洲町	4	1	0	0	0	3	1	0	0	0	1	0.00	0.00	1.00	0	0	0	0	0	0	31	1	1	0	0	0	0	30	0	
和水町	10	4	0	3	0	3	5	3	0	1	1	561.71	0.00	4.08	0	1	1	0	0	3	9,907	8,284	7,266	1,018	0	1,622	0	1	0	
合計	78	27	10	7	0	34	36	11	1	13	11	2,124.48	23.90	82.80	1	9	7	0	9	35	91,533	73,242	66,389	6,853	0	16,000	0	2,291	0	
令和6年 合計	70	20	8	5	0	37	29	6	1	9	13	605.72	61.50	144.49	2	5	3	0	11	31	115,375	108,547	75,694	32,853	0	2,516	0	4,312	0	
令和6年に 対する増減	8	7	2	2	0	△ 3	7	5	0	4	△ 2	1,518.76	△ 37.60	△ 61.69	△ 1	4	4	0	△ 2	4	△ 23,842	△ 35,305	△ 9,305	△ 26,000	0	13,484	0	△ 2,021	0	

(2) 火災種別件数比較表



A	建 物	27	(34.6%)
B	林 野	10	(12.8%)
C	車 両	7	(9.0%)
D	船 舶	0	(0.0%)
E	航 空 機	0	(0.0%)
F	そ の 他	34	(43.6%)
計		78件	

(3) 市町別火災発生件数



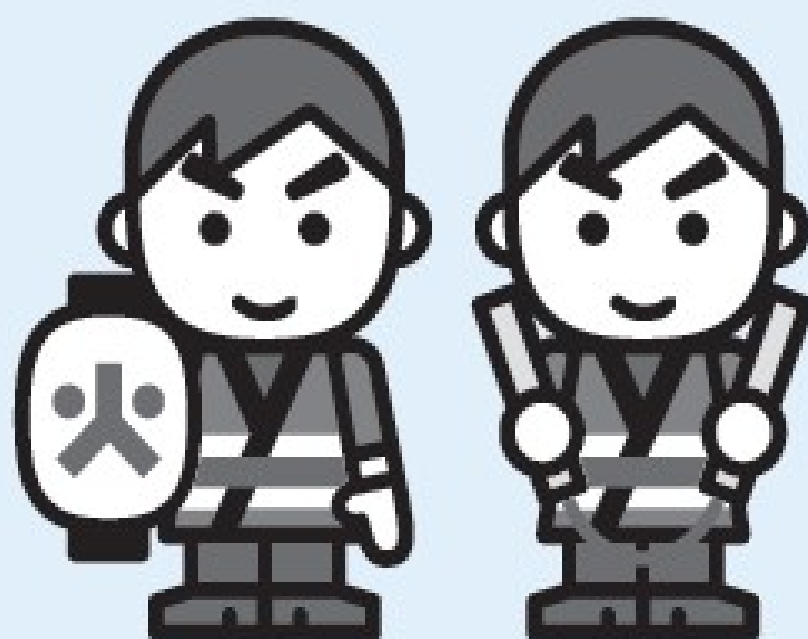
A	荒 尾 市	20	(25.7%)
B	玉 名 市	32	(41.0%)
C	玉 東 町	2	(2.6%)
D	南 関 町	10	(12.8%)
E	長 洲 町	4	(5.1%)
F	和 水 町	10	(12.8%)
計		78件	

3. 火災原因別出火件数調

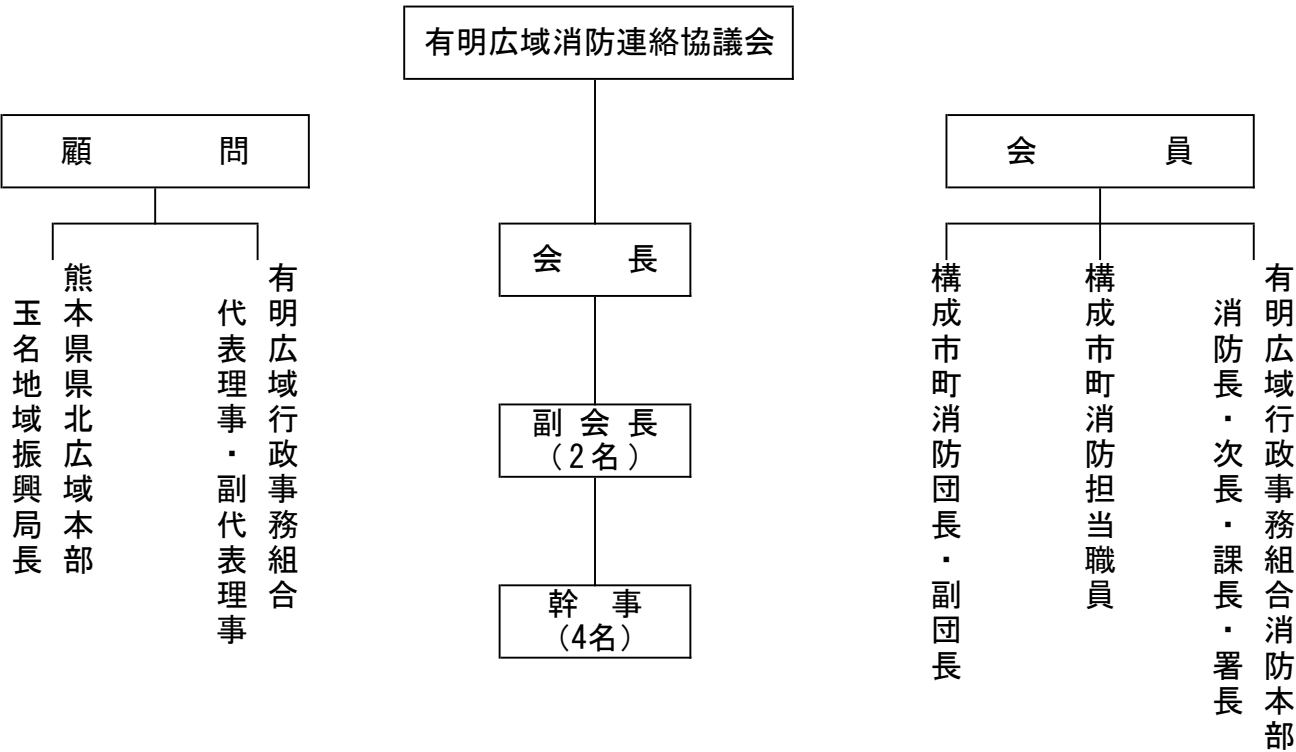
(令和7年中)

区 分 原 因	建 物		林 野		車 両		船 舶		そ の 他		合 計	
	件数	損害額 (単位:千円)	件数	損害額 (単位:千円)	件数	損害額 (単位:千円)	件数	損害額 (単位:千円)	件数	損害額 (単位:千円)	件数	損害額 (単位:千円)
た ば こ	3	15,102	0	0	0	0	0	0	1	30	4	15,132
こ ん ろ	3	86	0	0	0	0	0	0	0	0	3	86
か ま ど	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
風 呂 か ま ど	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
炉	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
焼 却 炉	1	1,912	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1,912
ス ト ー ブ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
こ た つ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ボ イ ラ ー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
煙 突 ・ 煙 道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
排 気 管	0	0	0	0	1	911	0	0	0	0	1	911
電 気 機 器	1	45	0	0	2	12,904	0	0	0	0	3	12,949
電 気 装 置	1	52	0	0	1	0	0	0	0	0	2	52
電灯・電話等の配線	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
内 燃 機 関	0	0	0	0	1	752	0	0	0	0	1	752
配 線 器 具	1	0	0	0	1	1,349	0	0	0	0	2	1,349
火 あ そ び	1	198	0	0	0	0	0	0	0	0	1	198
マッチ・ライター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
た き 火	3	6,260	6	0	0	0	0	0	17	0	26	6,260
溶接機・切断機	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
灯 火	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
衝突の花火	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
取 灰	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
火 入 れ	1	0	3	0	1	500	0	0	7	24	12	524
放 火	0	0	0	0	0	0	0	0	1	7	1	7
放 火 の 疑 い	1	284	0	0	0	0	0	0	0	0	1	284
そ の 他	7	37,420	1	0	0	0	0	0	5	16	13	37,436
不 明 ・ 調 査 中	3	13,681	0	0	0	0	0	0	3	0	6	13,681
合 計	27	75,040	10	0	7	16,416	0	0	34	77	78	91,533

消 防 団



1. 有明広域消防連絡協議会の組織



2. 市町別消防団員数調

(令和8年4月1日)

市町名	定数	実数		
		男性	女性	合計
荒尾市	550 人	367 人	16 人	383 人
玉名市	1,500 人	1,157 人	12 人	1,169 人
玉東町	220 人	178 人	15 人	193 人
南関町	450 人	305 人	13 人	318 人
長洲町	460 人	394 人	27 人	421 人
和水町	385 人	370 人	15 人	385 人
計	3,565 人	2,771 人	98 人	2,869 人

3. 市町別消防団の消防車等保有状況

(令和8年4月1日現在)

市 町 別	消防ポンプ 自 動 車	可搬動力ポンプ 積 載 車	小型動力ポンプ のみ	広 報 車	編成分団数
荒 尾 市	2	27	0	1	10
玉 名 市	0	89	11	1	10
玉 東 町	0	13	0	1	6
南 関 町	0	21	0	0	4
長 洲 町	0	17	0	0	4
和 水 町	0	36	1	0	7
計	2台	203台	12台	3台	41分団

— 参考 —

組合関係者名簿

(1) 組合役職者

役 職 名 等		氏 名	備 考
代 表 理 事	玉東町長	前田 移津行	東部環境施設担当
副 代 表 理 事	玉名市長	藏原 隆浩	斎場担当 第1衛生施設担当
理 事	荒尾市長	浅田 敏彦	消防担当
	南関町長	佐藤 安彦	介護保険担当
	長洲町長	田成 修一	クリーンパークファイブ施設担当 1市4町清掃施設建設担当
	和水町長	石原 佳幸	第2衛生施設担当
会 計 管 理 者		有明広域行政事務組合	浦田 武男
議 会	議 長	長 洲 町	松井 一也
	副 議 長	荒 尾 市	野田 ゆみ
監 査 委 員	議 員 任	玉 名 市	吉田 真樹子
	知識経験者選	荒 尾 市	近藤 克也
消 防 長		平本 正義	

(2) 組合議員

市 町 名	氏 名
荒 尾 市	古城 義郎
	前田 裕二
	野田 ゆみ
	谷口 繁治
玉 名 市	西村 太
	中村 慎吾
	吉田 真樹子
	一瀬 重隆
玉 東 町	徳村 登志郎
	功刀 圭一
南 関 町	林 和廣
	米田 昌彦
長 洲 町	西田 政博
	松井 一也
和 水 町	濱崎 久
	池田 精一郎
	北川 雅和

(3) 消防団長等

(令和8年7月現在)

市 町 名	消 防 団 長	消防副団長	消防担当者
荒 尾 市	西田 学	小川 佳宏	江崎 清人
		松村 浩哲	
		北田 隆幸	
玉 名 市	池田 篤治	伊藤 潤	小川 達也
		太田黒 智	
		高田 公壺	
		米田 憲弘	
玉 東 町	菅本 勝広	早高 竜一	土山 修
		荒木 武三	
南 関 町	中村 三雄	松田 和樹	大倉 弘
		後藤 聡	
長洲町	杉本 和明	松永 大輔	川島 武
		吉田 勇人	
		西山 利文	
和水町	小山 亮	益永 周房	田上 康太
		池上 公紀	
		松石 淳	
		福山 憲司	